2070920B

CAR MATE

AILEBEBE

KURUTTO 3 i

クルット スリーアイ

取扱説明書

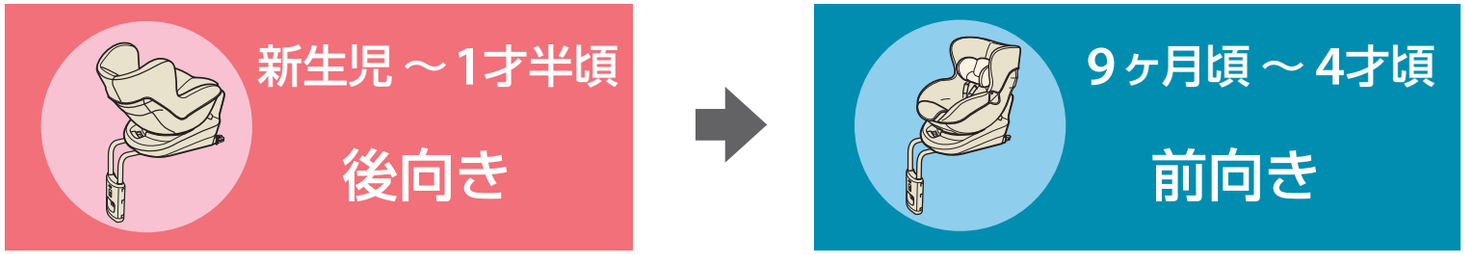
動画
取扱説明

本品はお子さまを守るための安全製品です。誤った取り付け、使用により お子さまの死亡や重傷を負う事故の原因となる場合があります。使用する 前に必ず本書をよく読み、内容を充分にご理解の上、正しく使用してください。

20141217版

本品の基本的な使いかた

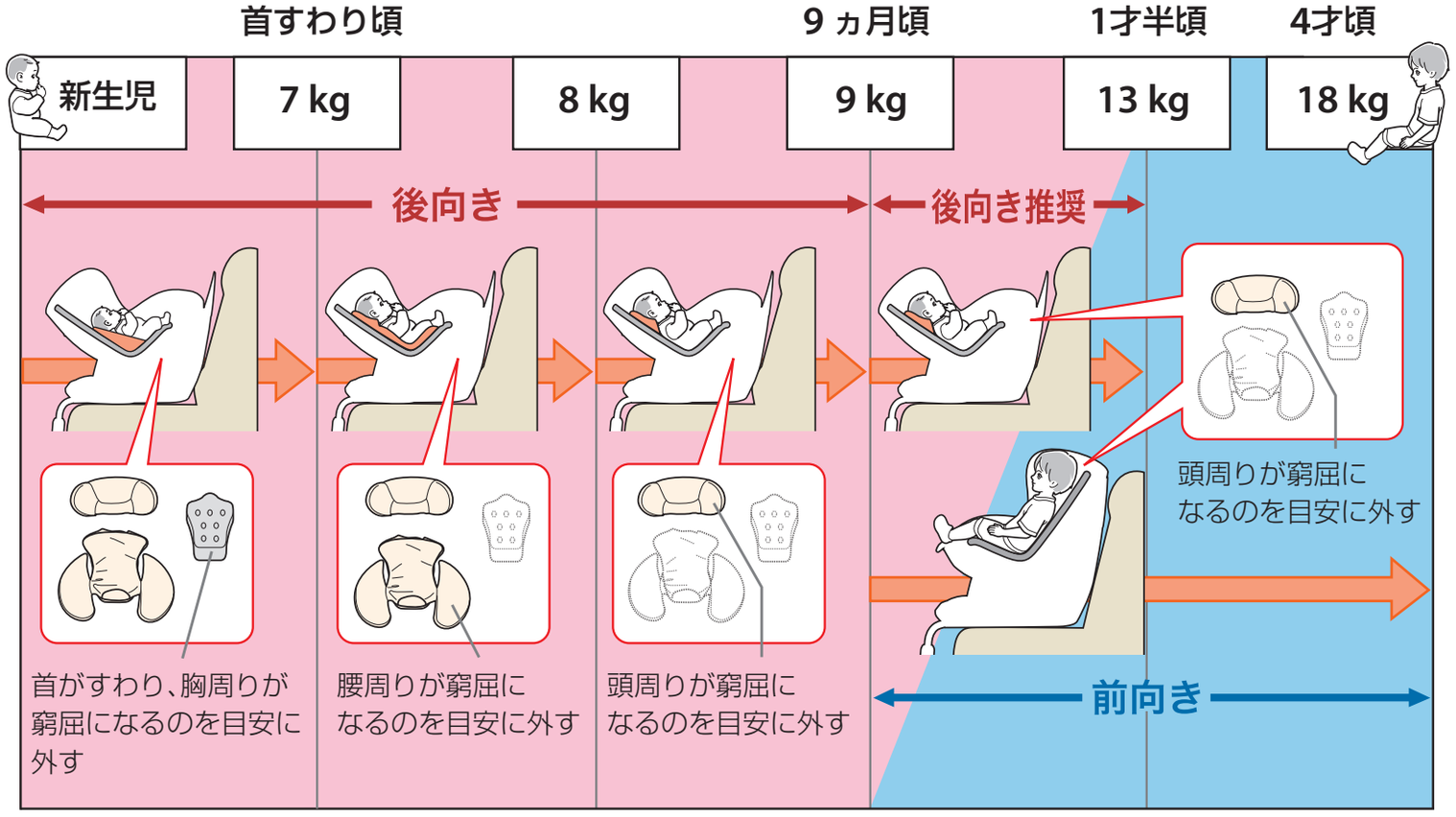
お子さまの年齢とシートモードについて



※ 年齢は目安です。お子さまの成長に合わせて調節してください。

お子さまを乗せる ➡ 34 ページへ

お子さまの体重とシートモードについて



ママの手クッションを調節する ➡ 38 ページへ

目 次

箱から出したら まず確認

各部の名称と付属品 4
チャイルドシートの正しい持ちかた 7
安全にお使いいただくために 8
緊急事態が発生したら 17

取り付け・取り外し方法

車へチャイルドシートを取り付ける 18
車からチャイルドシートを取り外す 28

お子さまを乗せる

リクライニングの操作方法 32
回転操作方法 33
お子さまを乗せる 34

付属品の使いかた

日よけを取り付ける 50
日よけを取り外す 53

お手入れのしかた

カバーを取り外す 54
お手入れのしかた 57
カバーを取り付ける 58

Q&A

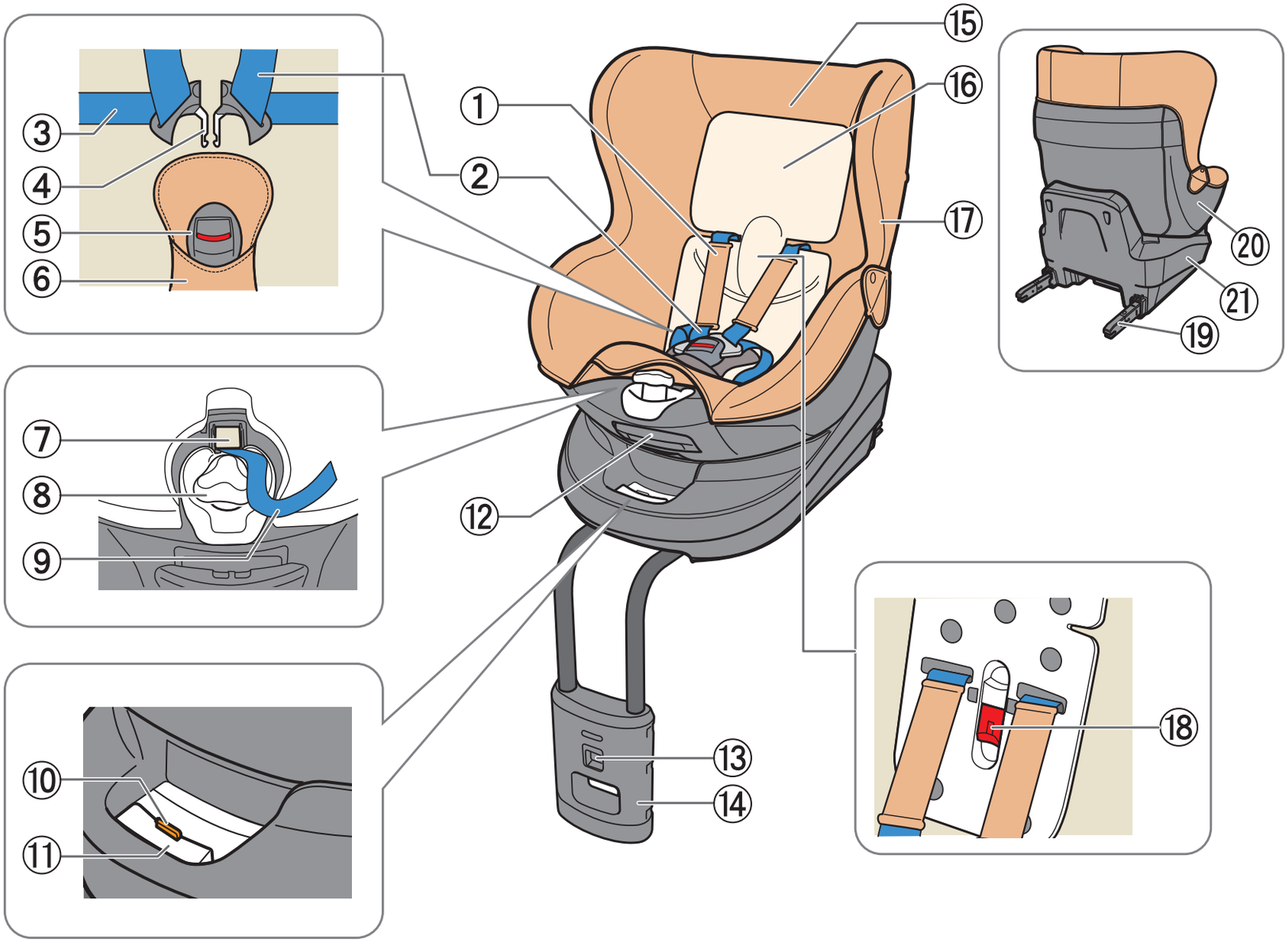
よくあるご質問 62

その他

保証書 65
製品仕様 67
保管方法 67
廃棄方法 67

各部の名称と付属品

本体

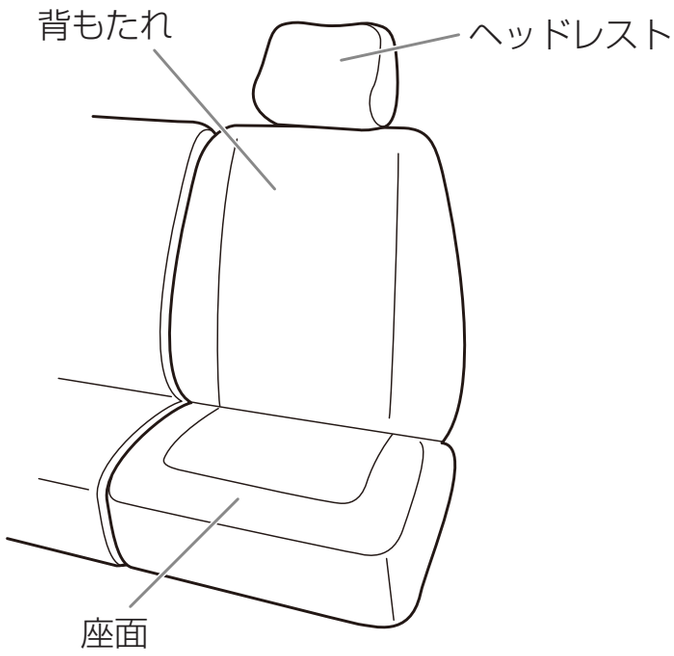


＊グレードにより仕様が異なる場合や
付属されていない場合があります。

① 肩ベルトカバー*
② 肩ベルト
③ 腰ベルト
④ タング
⑤ バックル
⑥ バックルカバー
⑦ アジャストレバー
⑧ クルットノブ
⑨ 肩ベルトアジャスター
⑩ 解除レバー
⑪ コネクタレバー
⑫ リクライニングレバー
⑬ サポートレッグ解除レバー
⑭ サポートレッグ
（梱包時は収納されています）
⑮ 本体カバー*
⑯ 背もたれカバー*
⑰ タングホルダー（左右）*
⑱ 肩ベルト調整レバー
⑲ コネクタ部（左右）
⑳ シート
㉑ ベース

車の座席名称

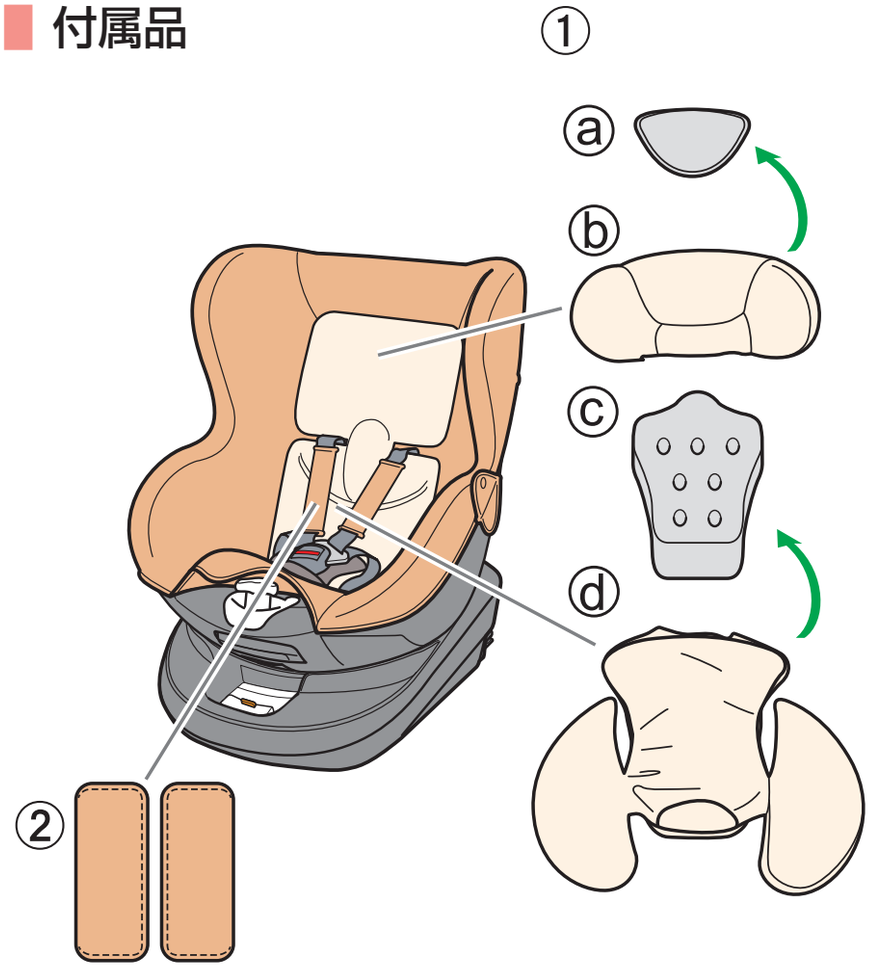
本書では、車の座席まわりの名称を
次のように呼んでいます。



各部の名称と付属品

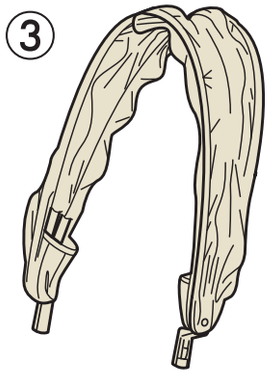
＊グレードにより仕様が異なる場合や
付属されていない場合があります。

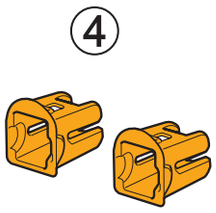
付属品

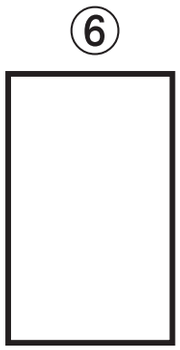


① ママの手クッション“フラット”＊
- ⓐ ヘッドクッション*
- ⓑ ヘッドサポート
- ⓒ フラットクッション*
- ⓓ ヒップサポート

② よだれパッド*
③ 日よけ*
④ フィックスガイド
⑤ 取扱説明書
⑥ トリプル保証お申込みのご案内

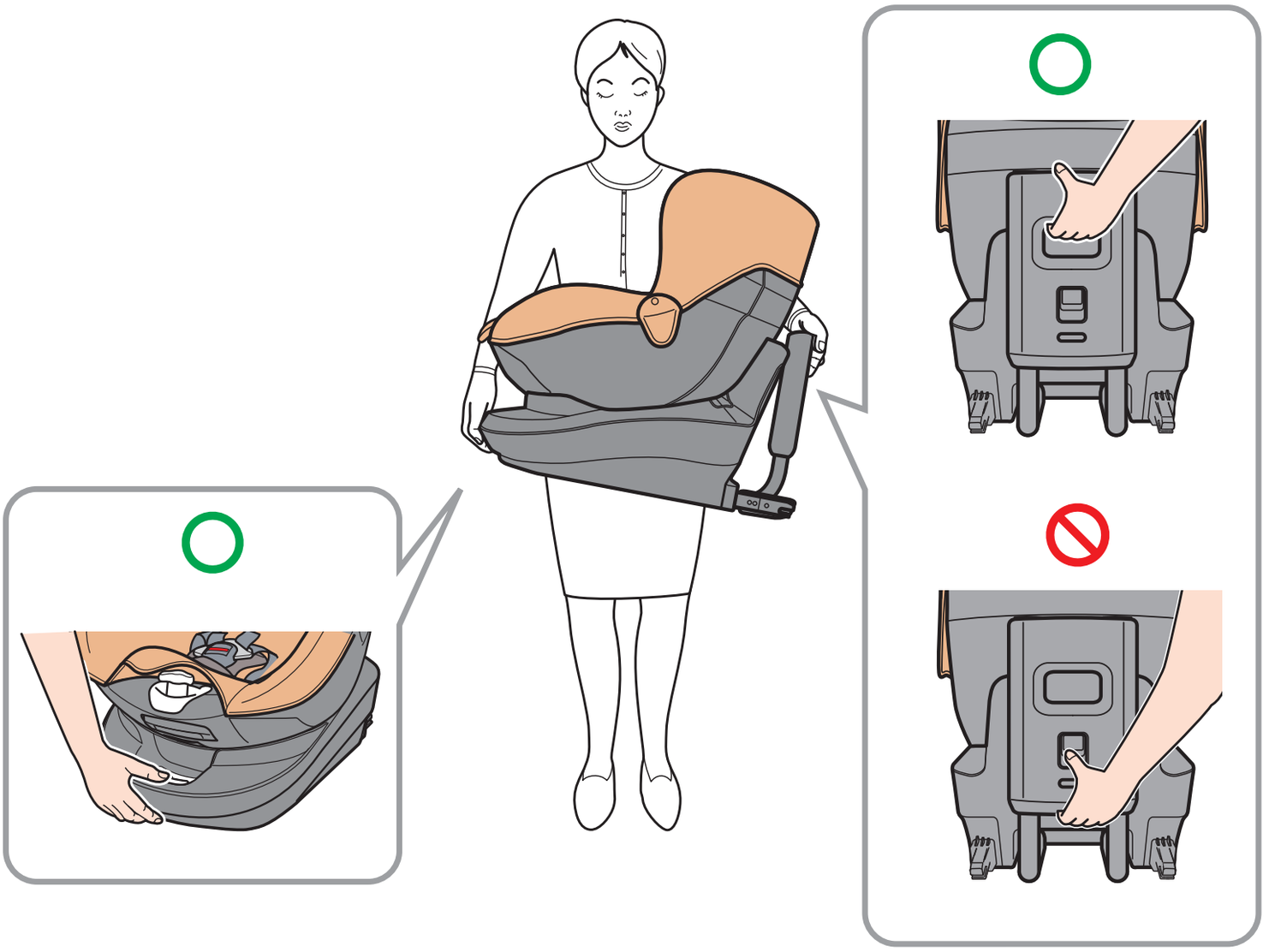






取扱説明書収納場所

チャイルドシートの正しい持ちかた



⚠注意

- お子さまを乗せたまま持ち運ばないでください。
- 本品を持ち運びする際は日よけ部分を持たないでください。

安全にお使いいただくために

取り付け適合を確認する

本品はISO FIX（アイソフィックス）*1取付を採用し、ヨーロッパ安全基準 ECE R44/04 において下記条件で認可された商品です。

- グループ：0+、Ⅰ
- カテゴリー：セミユニバーサル
- お子さまの体重：新生児 ～ 18 kgのみ使用可能
- ISO FIX取付金具（ロアアンカレッジ）が車に装着されており、当社の適合情報にて取り付け可能な車の座席のみ使用可能

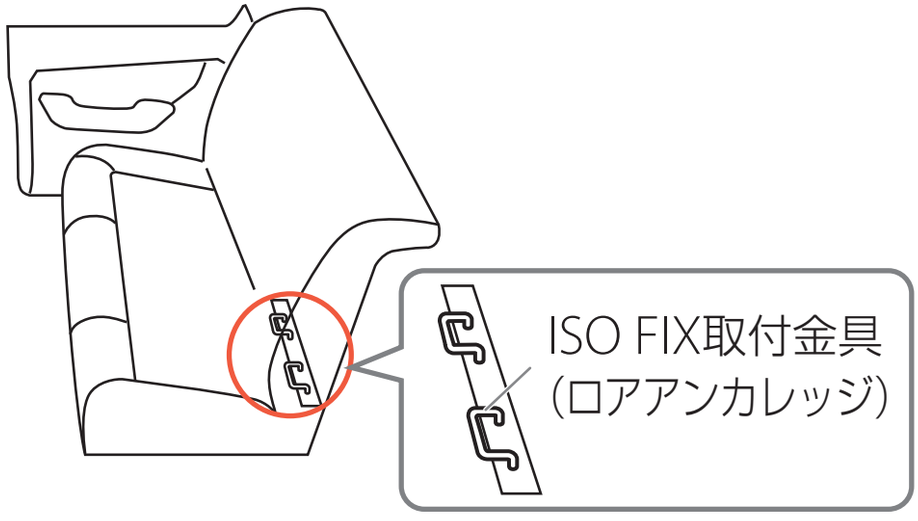
質量グループ	サイズ等級
0+（～ 13kg）	C,D,E
Ⅰ（9 ～ 18 kg）	A, B, B1

***1 ISO FIXとは？**

車のシートにチャイルドシートを固定する方式の国際標準規格の1つです。
チャイルドシートをこれまで一般的だったシートベルトを使用せず、その代わりに、ISO FIX取付金具で固定します。

① ISO FIX取付金具（ロアアンカレッジ）の確認方法

車により名称や位置が異なる場合があります。
必ず、車の取扱説明書で確認してください。



② 適合車種の確認方法

店頭で.....「エールベベ車種別適合表」

パソコンで.....http://www.ailebebe.jp/

ケータイで.....右記のQRコードからアクセスできます。
ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

適合車種確認

安全の注意事項

取扱説明書および製品本体では、安全の注意事項を次のように表示しています。
表示内容をよくご理解ください。

⚠危険	危険事項を守らずに使用した場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる原因となります。
⚠警告	警告を守らずに使用した場合、使用者の死亡や重傷を負う事故につながることがあります。
⚠注意	注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周辺の物品損害を伴う事故につながることがあります。

安全にお使いいただくために

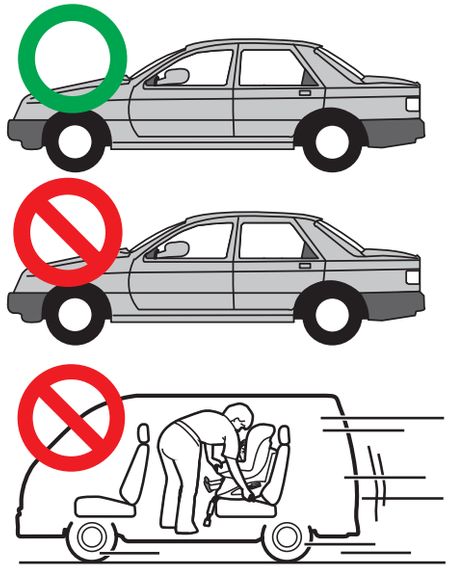
チャイルドシートの取り付けについて

⚠危険

取り付け適合車種、取り付け適合座席以外では使用しない

- 本品は正しい取り付け適合で、正しい使用および装着をしないと本来の性能を発揮できません。また、取り付ける車を替えられる場合は、再度、適合車種を確認してからご使用ください。

  適合車種や座席の確認方法 ➡ 8 ページへ



走行中に取り付け・取り外しをしない

- 必ず安全な場所に駐車して行ってください。

エアバックが装備されている座席で使用しない

- エアバックが作動した際に、お子さまに強い力が加わって、死亡や重症に至る危険性があります。なお、エアバックが無作動に出来る場合は、車の取扱説明書に従ってください。(サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。)

助手席に取り付けない

- 衝突時、他の座席より損傷を受ける可能性が高く危険です。

⚠警告

取り付け後にシートスライドまたはリクライニングをしない

- チャイルドシートが正しく固定されず安全性が損なわれます。

緊急時の脱出の妨げになる座席には取り付けない
（片側スライドドアの入り口側座席など）

- 事故などの緊急時に、同乗者の脱出の妨げになる座席には取り付けないでください。

⚠注意

車のシートに取り付け跡が残る可能性があります

安全にお使いいただくために

チャイルドシートの取り扱いについて

⚠危険

分解、改造、油をさす、および指定部品以外の交換はしない

- 本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれる原因になります。

事故や強い衝撃を受けた場合は使用しない

- 外観上破損が確認できない場合でも、本品の強度が下がってしまうことがあるため、交換が必要になります。

- 可動式シートや車のドアに本品の剛性部分（プラスチック部分など）が挟まると本品の強度が下がってしまうことがあるため、交換が必要になります。

⚠警告

シートカバーやクッション材は正しい状態で使用する

- シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、大きく破れた状態で使用したりすると、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれる原因となります。

サポートレッグが座席のスライドレールに干渉する場合は、メーカー純正のフロアマットを使用する

- サポートレッグが座席のスライドレールに干渉したまま使い続けると、本品がしっかり固定されず、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損われます。

サポートレッグが車内凹凸やエアコン吹き出し口に干渉する場合は座席をスライドする

- スライド機能がある座席で、サポートレッグが車内の凹凸やエアコンの吹き出し口などに干渉する場合は、干渉しない位置まで車の座席をスライドさせてください。強い衝撃を受けた際、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損われます。

本品が入っているビニール袋は開封後すぐにやぶり捨てる

- お子さまが誤って袋に頭を入れ、窒息による死亡事故の原因になる場合があります。

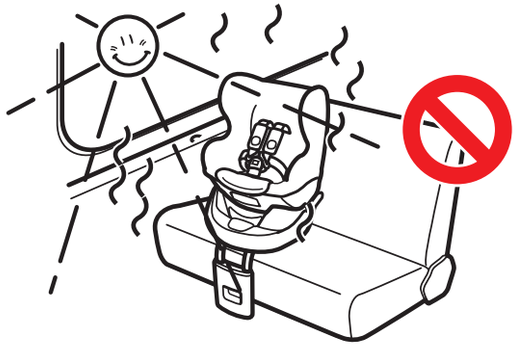
安全にお使いいただくために

チャイルドシートの取り扱いについて

⚠注意

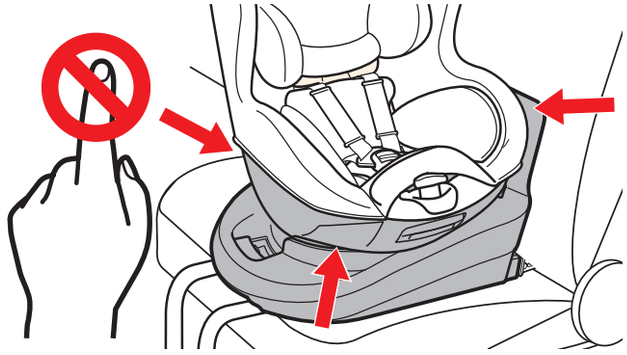
チャイルドシートを直射日光にさらさない

- 金属部分などが熱くなり、やけどの原因となる場合があります。また、お子さまを乗せる前には、金属部分以外も熱くなっていないか確認してください。



可動部に指を入れない

- 本品を回転、リクライニング、またはサポートレッグを操作する際は、可動部に指を挟まないようご注意ください。



サポートレッグの解除レバーを押さえたまま本品を持たない

- サポートレッグの解除レバー等の操作レバーを押さえたまま本品を持ち上げると落下してけがの原因になる場合があります。

お使いになるお子さまの安全のために

⚠警告

適応体重にあったチャイルドシートの向きに固定する

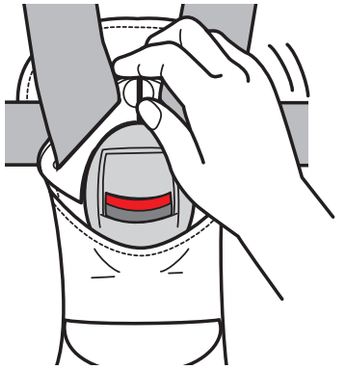
- 本品を設置する際は、適応体重にあった正しい向きに固定しないと、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれます。

➡ 2 ページへ

適応体重にあった肩ベルトの高さにする

- 適応体重にあった正しい肩ベルトの高さにしないと、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれます。

➡ 43 ページへ



チャイルドシートのバックルを必ずロックする

- 本品のバックルがロックされていないと、衝突の際にお子さまが投げ出される危険性が高くなります。
  また、チャイルドシートを使用中のお子さま、または同乗のお子さまが、誤ってバックルの解除ボタンを押さないようご注意ください。

固定していないチャイルドシートを車内に置かない

- 急ブレーキや衝突時に同乗者のけがの原因となる場合があります。

安全にお使いいただくために

お使いになるお子さまの安全のために

⚠警告

肩ベルト・腰ベルトは正しい位置でゆるみ・ねじれのない状態で使用する

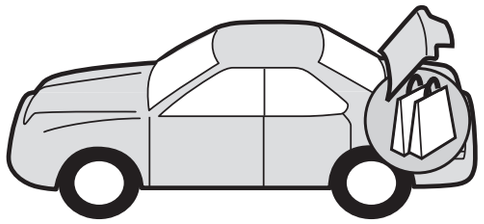
- 万が一事故が起きた際、本来の性能を発揮できません。
  また、肩ベルト・腰ベルトが首に掛かり窒息するなど、予期せぬ事故の原因となる場合があります。

お子さまだけを車に残さない

- お子さまが車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。特に夏場は車内が高温になり、熱中症を引き起こす原因となります。また、シートベルトが首に巻きついて窒息するなど、予期せぬ事故の原因となる場合があります。

お子さまのけがの原因になるような荷物は必ず固定するかトランク内に収納する

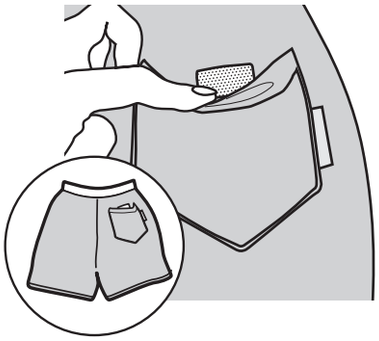
- 急ブレーキや衝突時に、お子さまや同乗者のけがの原因になります。



⚠注意

靴や衣服のファスナーが本品カバーに引っかからないように気をつける

- お子さまの靴や衣服の面ファスナーなどが本品のカバーに引っかかると、本品のカバーを傷める可能性があります。

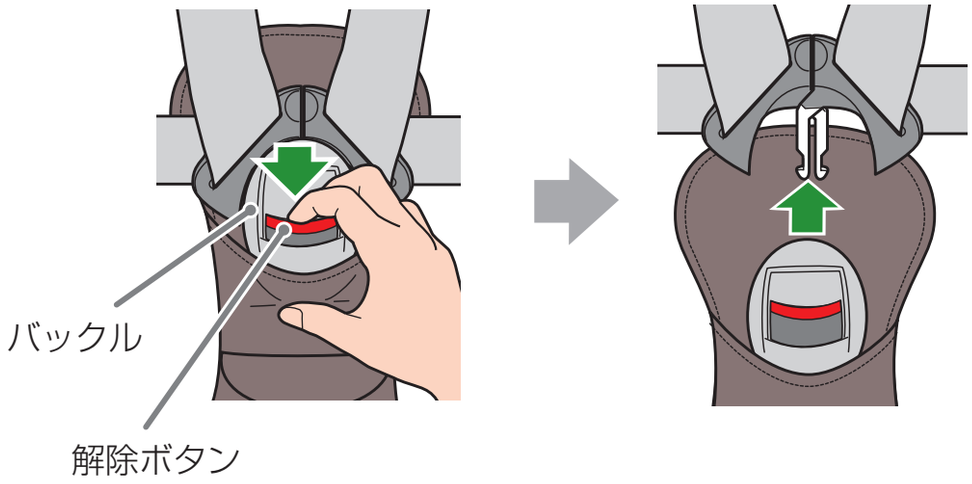


参考

お子さまの負担を考えて、1時間ごとを目安に休憩をおとりください。

緊急事態が発生したら

事故などの緊急事態が発生した場合は、バックルの解除ボタンを押して肩ベルトをお子さまの腕から外し、すみやかに安全な場所へ避難してください。



車へチャイルドシートを取り付ける

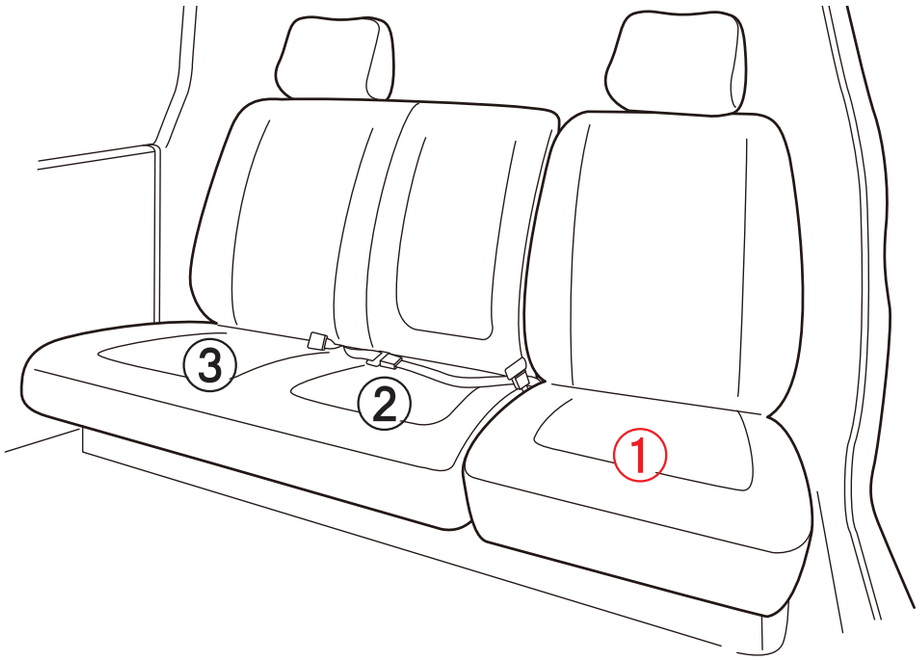
適合車種のご確認

本品を車に取り付ける前に、①ISO FIX取付金具（ロアアンカレッジ）の有無と、②適合車種をご確認ください。
また、車を替えて本品を取り付け直す場合も、①ISO FIX取付金具の有無と、②適合車種をご確認ください。
取付金具がない場合や、適合車種以外の場合は、本品を取り付けないでください。

適合車種の確認方法 ➡ 8 ページへ

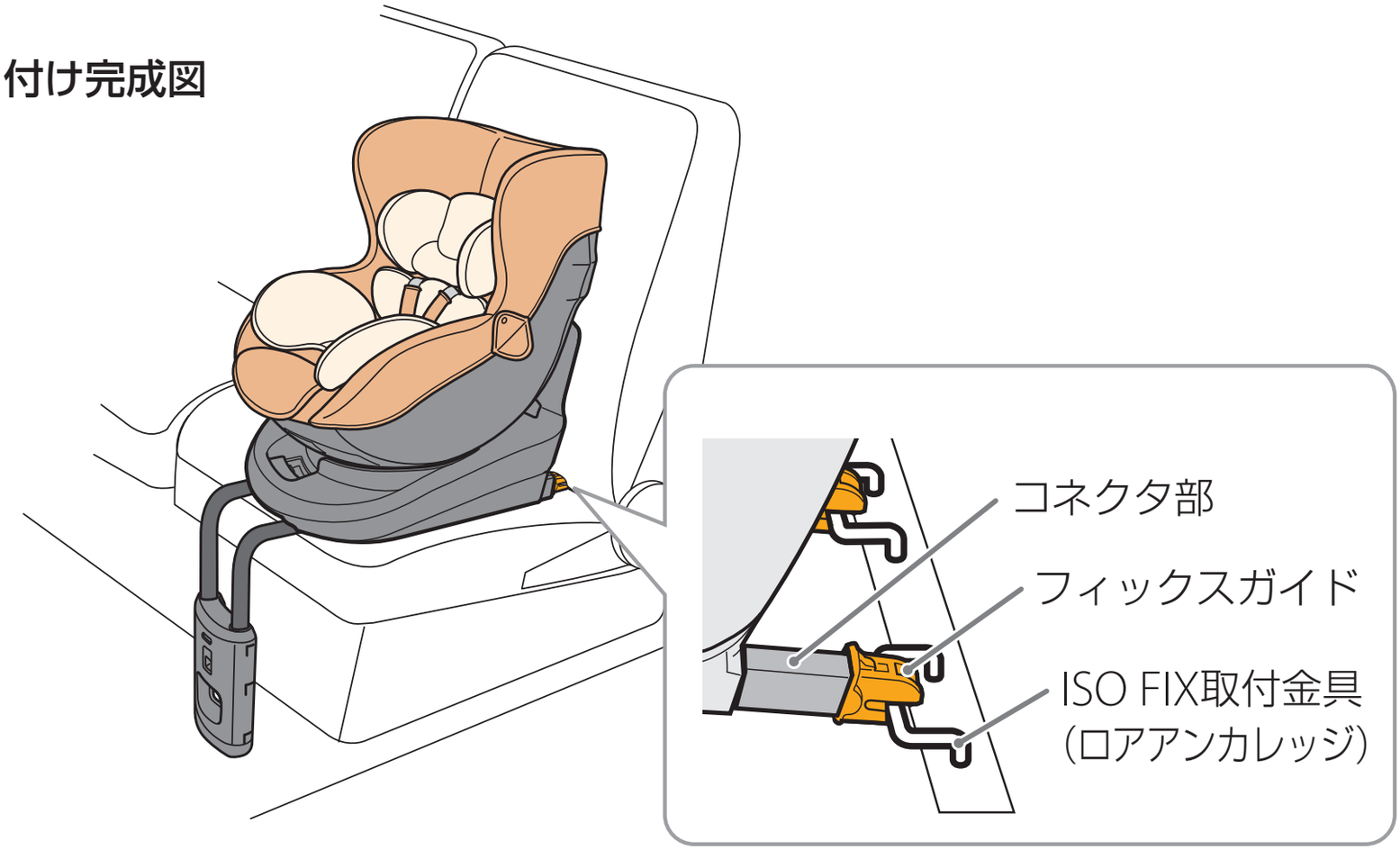
本書での取り付け座席について

本書では、お車の左側の座席（①）を例に、取り付け方法の説明をしています。



動画
取付方法・
取付後の確認

取り付け完成図



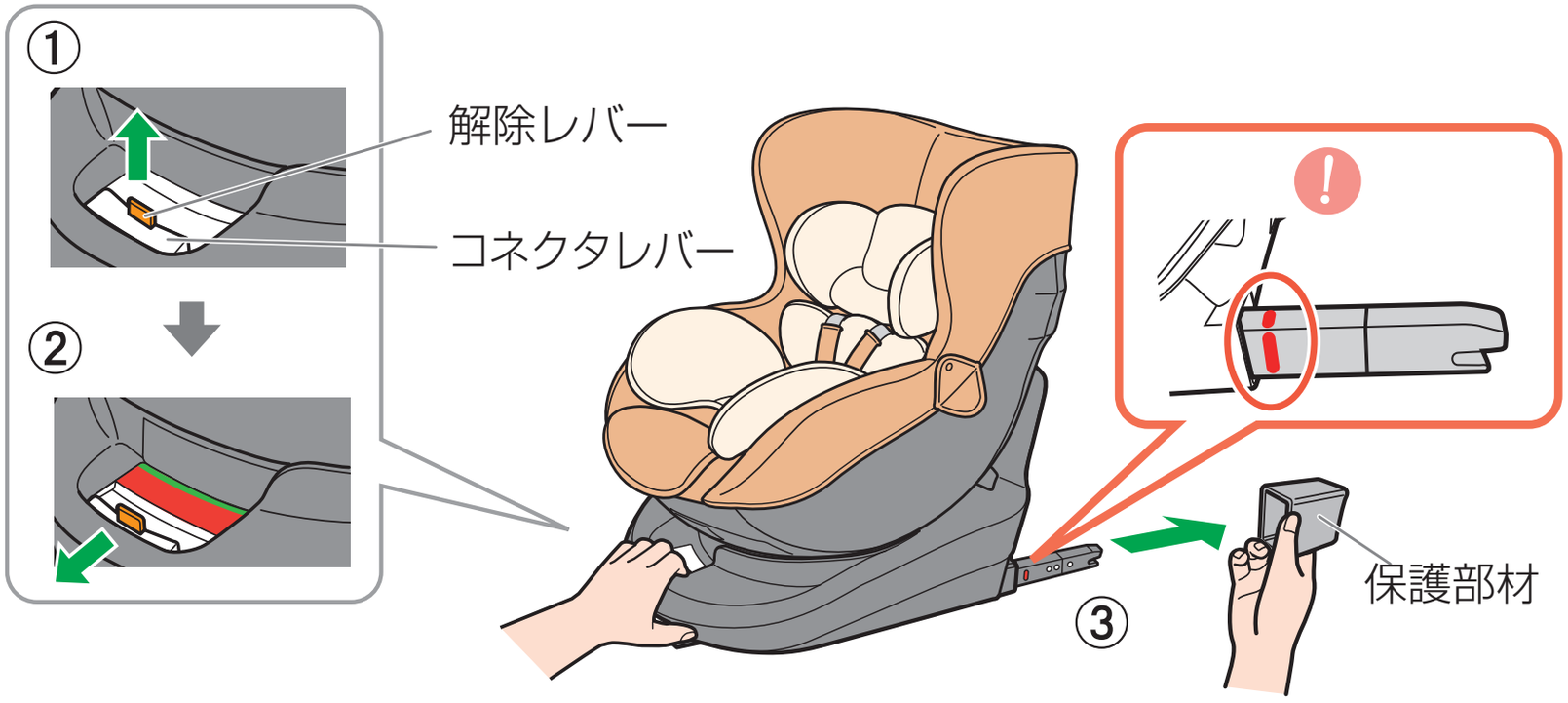
車により取付金具の名称や位置が異なる場合があります。必ず車の取扱説明書で確認してください。
車の種類または座席によっては、フィックスガイドが必要ない場合や、座席のISO FIX取付金具にフィックスガイドを取り付けられない場合があります。このような場合は、フィックスガイドを使用せずに取り付けてください。

⚠危険

本品は、ISO FIX取付金具の装備されていない座席に、車のシートベルトなどで固定することはできません。ISO FIX取付金具以外で固定しようとした場合、本品が正しく固定されず本来の性能が発揮できません。

車へチャイルドシートを取り付ける

1 保護部材(白色)を外す



① 解除レバーを上げながら、

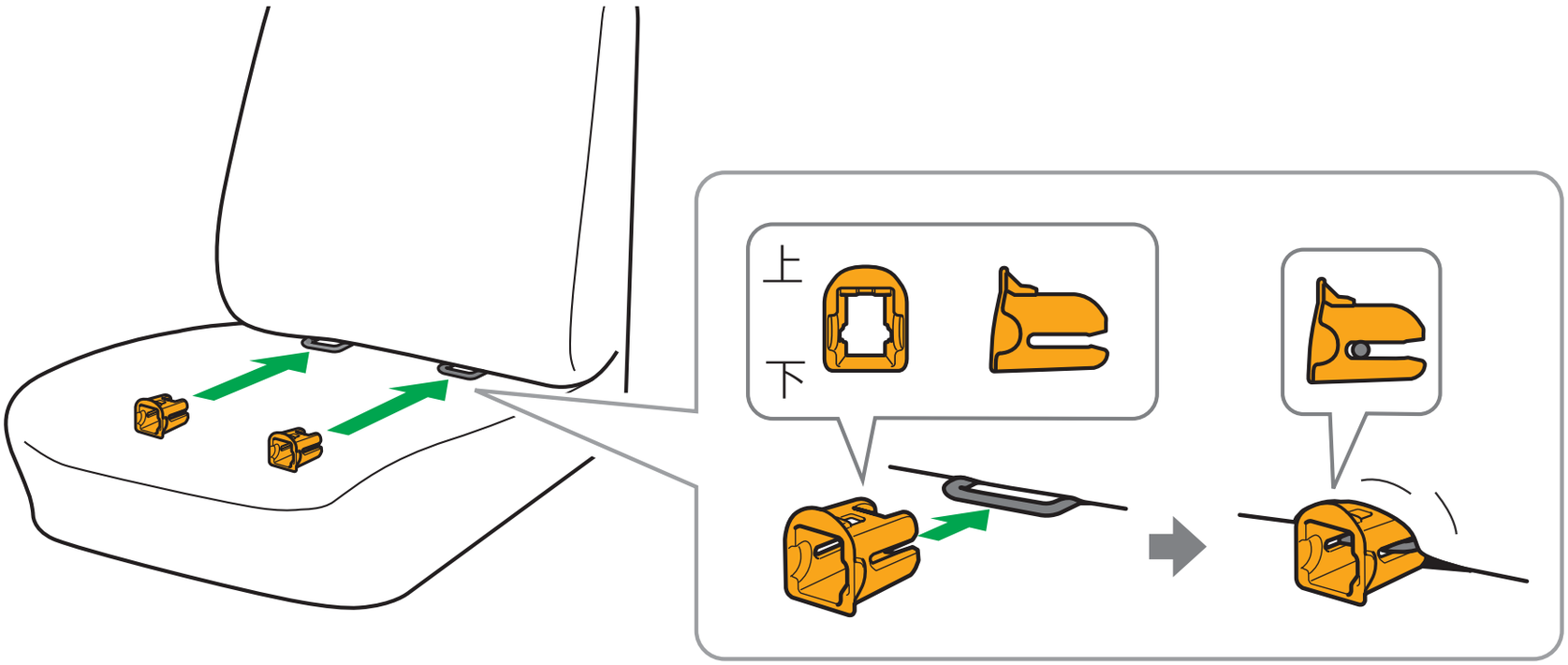
② **緑色**のラインが見えるまで、コネクタレバーを強く握り、

③ 保護部材を勢いよく外す。
保護部材は左右ありますので、片方ずつ行ってください。

⚠注意 保護部材を外した後にコネクタ部のインジケーターが**赤色**になっていることを確認してください。

---

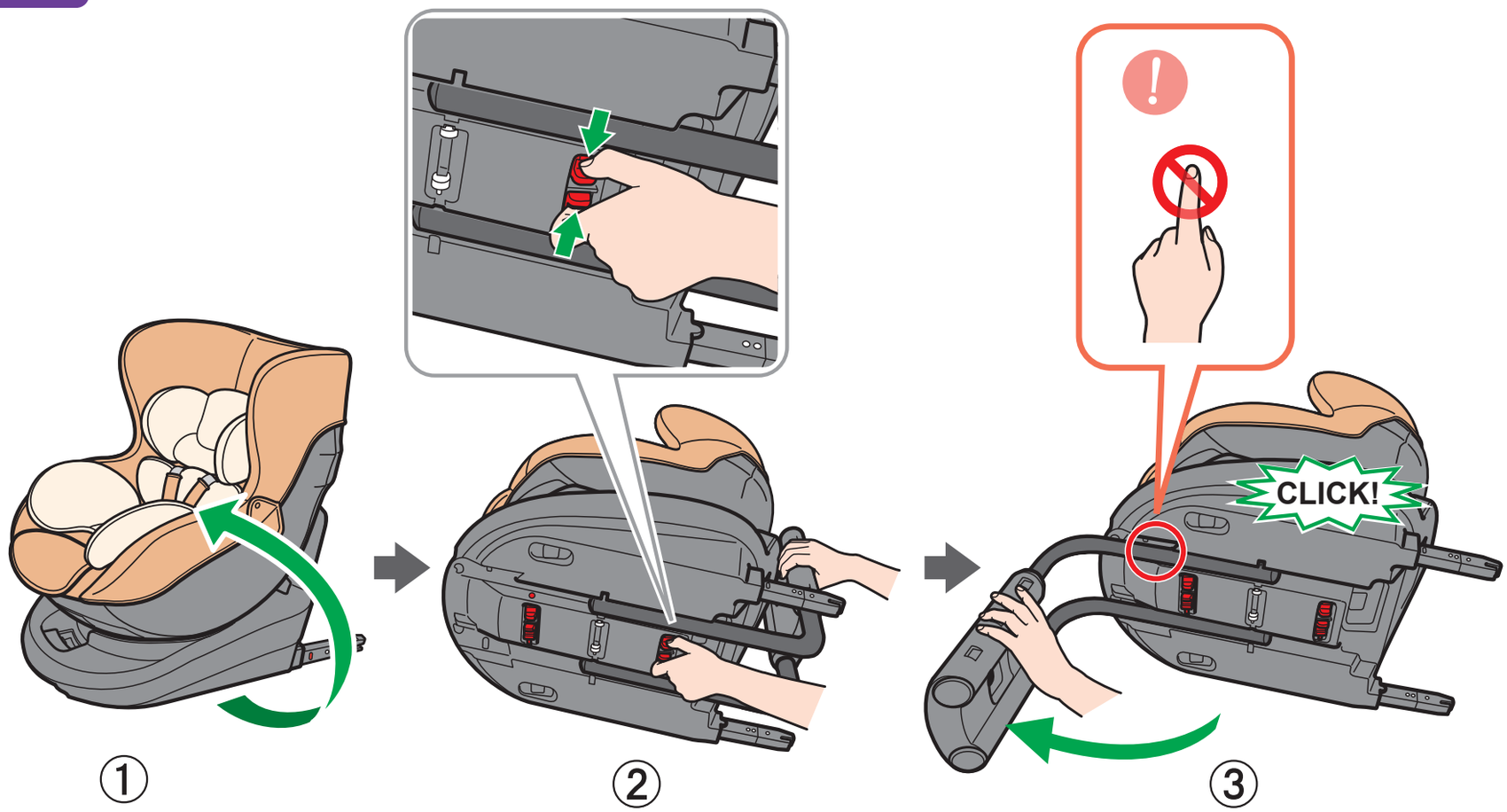
2 フィックスガイド(黄色)を袋から取り出し、車のISO FIX取付金具に差し込む*



* ISO FIX取付金具は座席に隠れて見えにくいため、フィックスガイドを使うことで、チャイルドシートが取り付けやすくなります。
車の種類または座席によっては、フィックスガイドが必要ない場合や、座席のISO FIX取付金具にフィックスガイドを取り付けられない場合があります。このような場合は、フィックスガイドを使用せずに取り付けてください。

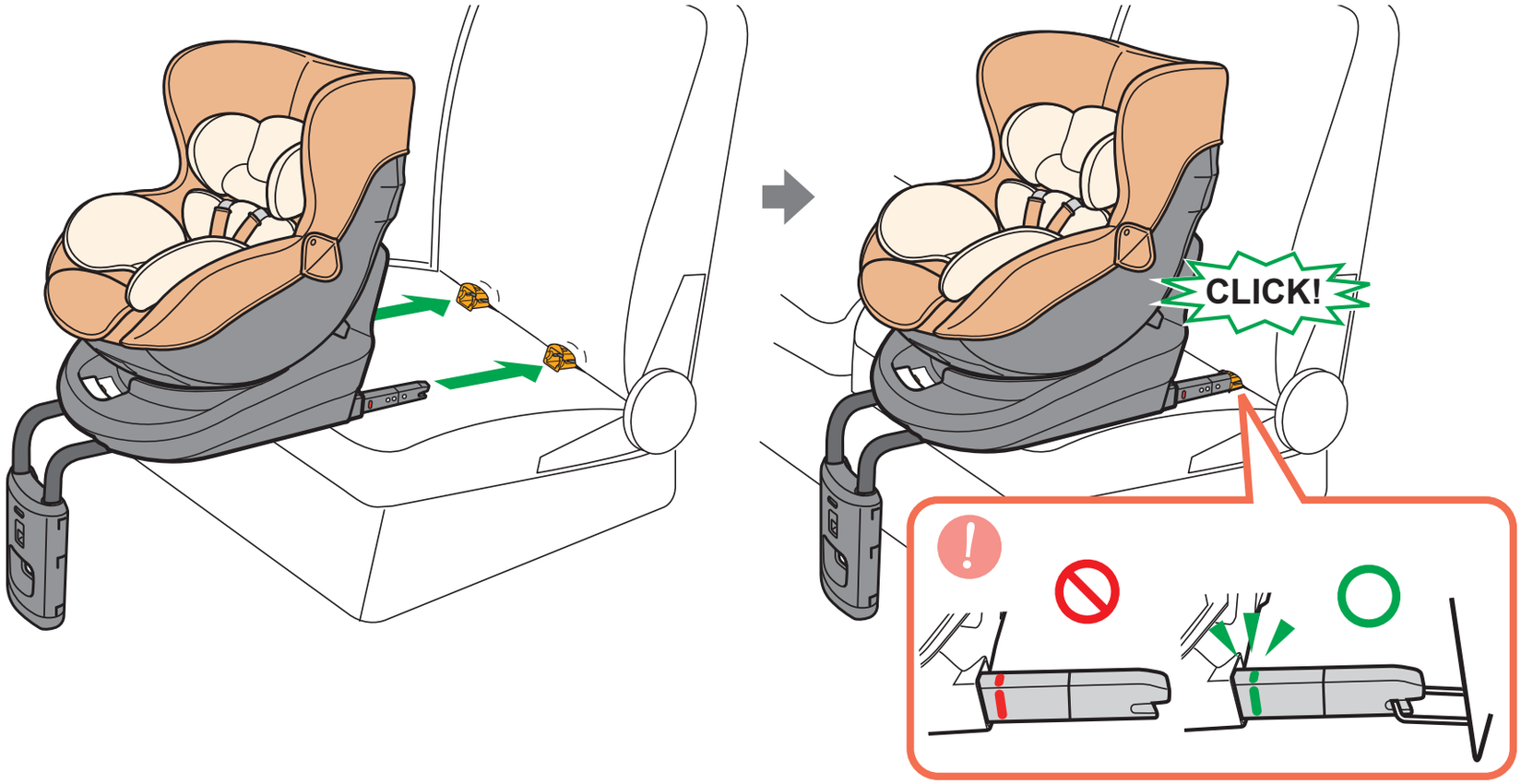
車へチャイルドシートを取り付ける

3 サポートレッグを取り出す



① チャイルドシートの底面が見えるように倒す。
② ベース底面のサポートレッグ解除レバーをつまみ、
③ サポートレッグをベース背面から回転させて固定する。

4 コネクタ部を座席のISO FIX取付金具に押し込む

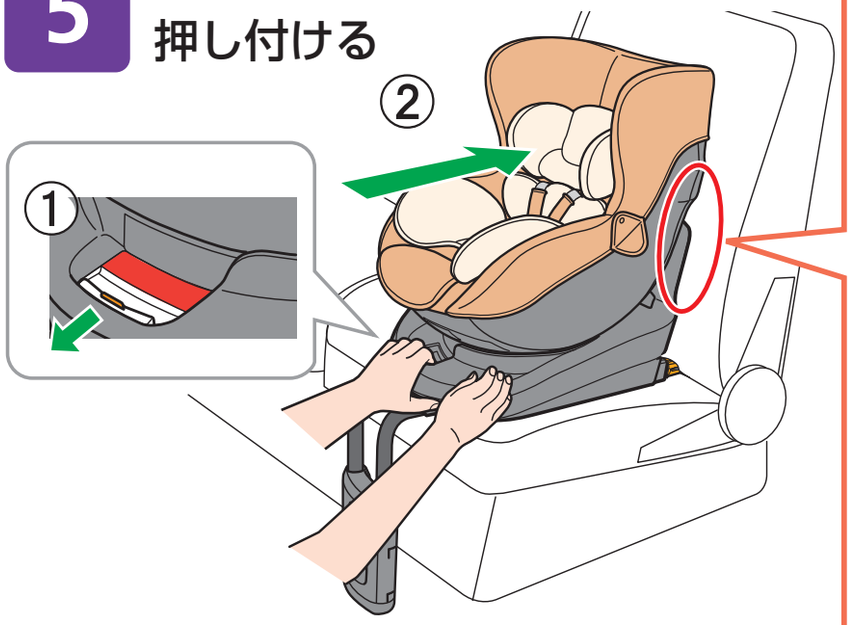


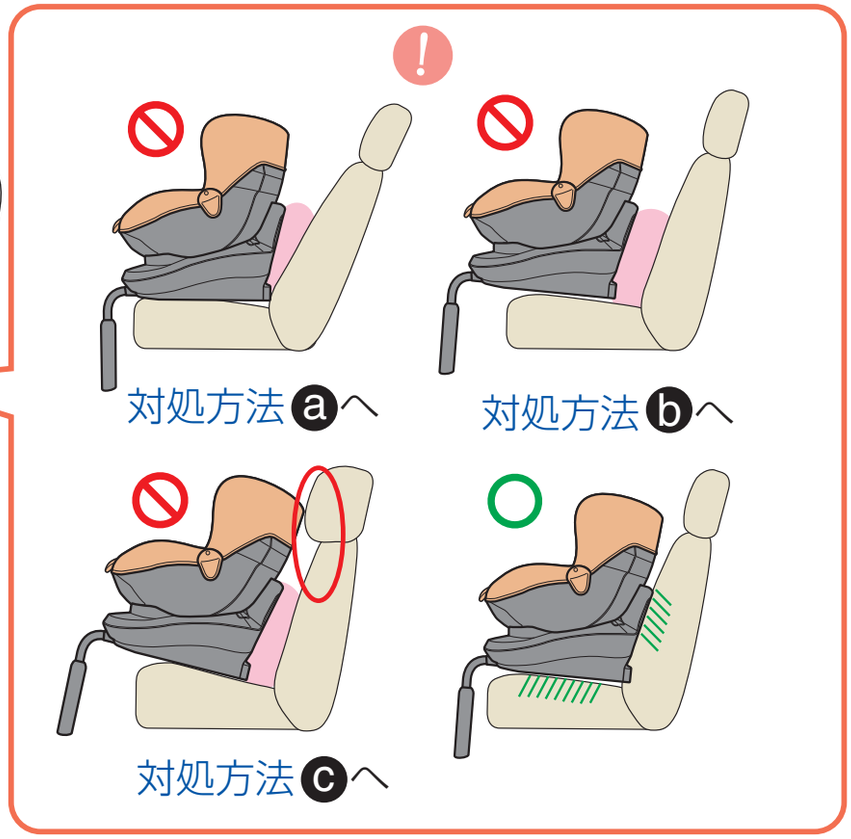
チャイルドシートを座席に乗せ、左右両方のコネクタ部を座席のISO FIX取付金具にカチッと音が鳴るまでしっかり押し込む。

⚠注意 コネクタ部のインジケーターが**緑色**になっていることをご確認ください。コネクタ部がISO FIX取付金具に届かない場合は、車のリクライニングを倒してから再度押し込んでください。

車へチャイルドシートを取り付ける

5 チャイルドシート全体を座席に押し付ける





① コネクタレバーを握りながら、

② チャイルドシートを車の座席に強く押し付ける。

☛ 対処方法

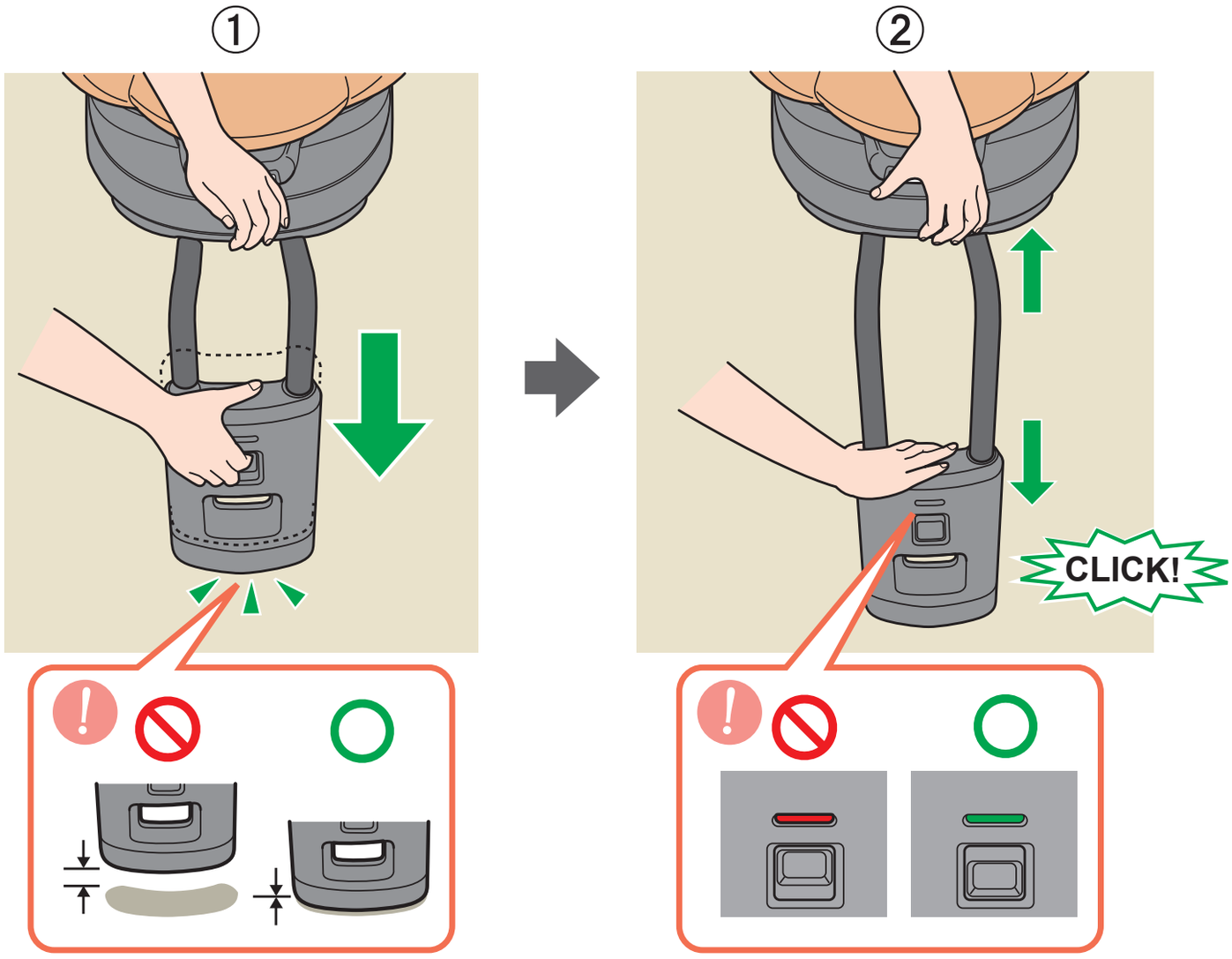
ⓐ 車の座席にリクライニング機能がある場合は、リクライニングを調節してベースを車の座面と背もたれに密着させてください。

ⓑ 背もたれと隙間がある場合は、もう一度コネクタレバーを握りながら、更に押し込んでください。

ⓒ 車のヘッドレストが本品に干渉する場合は外してください。シートを回転させたりリクライニングさせた時に車の背もたれに干渉する場合は、背もたれを倒して取付し直してください。

チャイルドシートの取り外し方法 ➡ 28 ページへ

6 サポートレッグを床面に接地させる



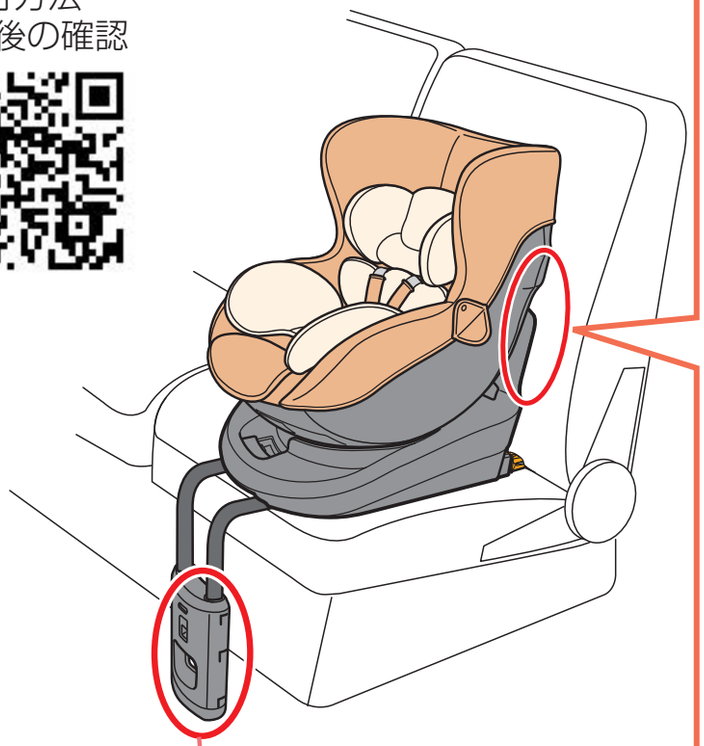
① サポートレッグ解除レバーを握り、サポートレッグが車の床面に接するまで下げる。

② サポートレッグとベースを押し広げると表示が緑になり、サポートレッグがロックします。

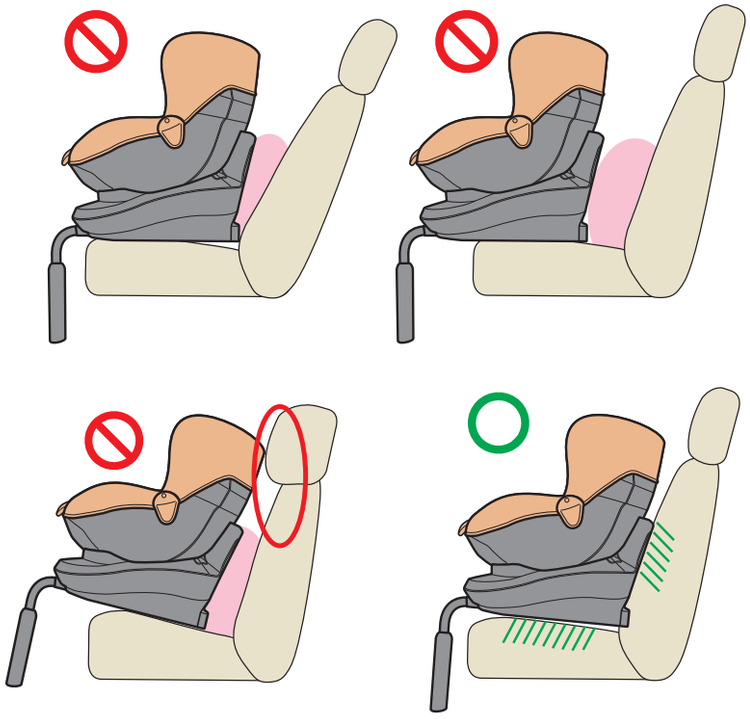
車へチャイルドシートを取り付ける

取付け後の確認

動画
取付方法・
取付後の確認



① 車の座席とチャイルドシートに隙間がないこと。

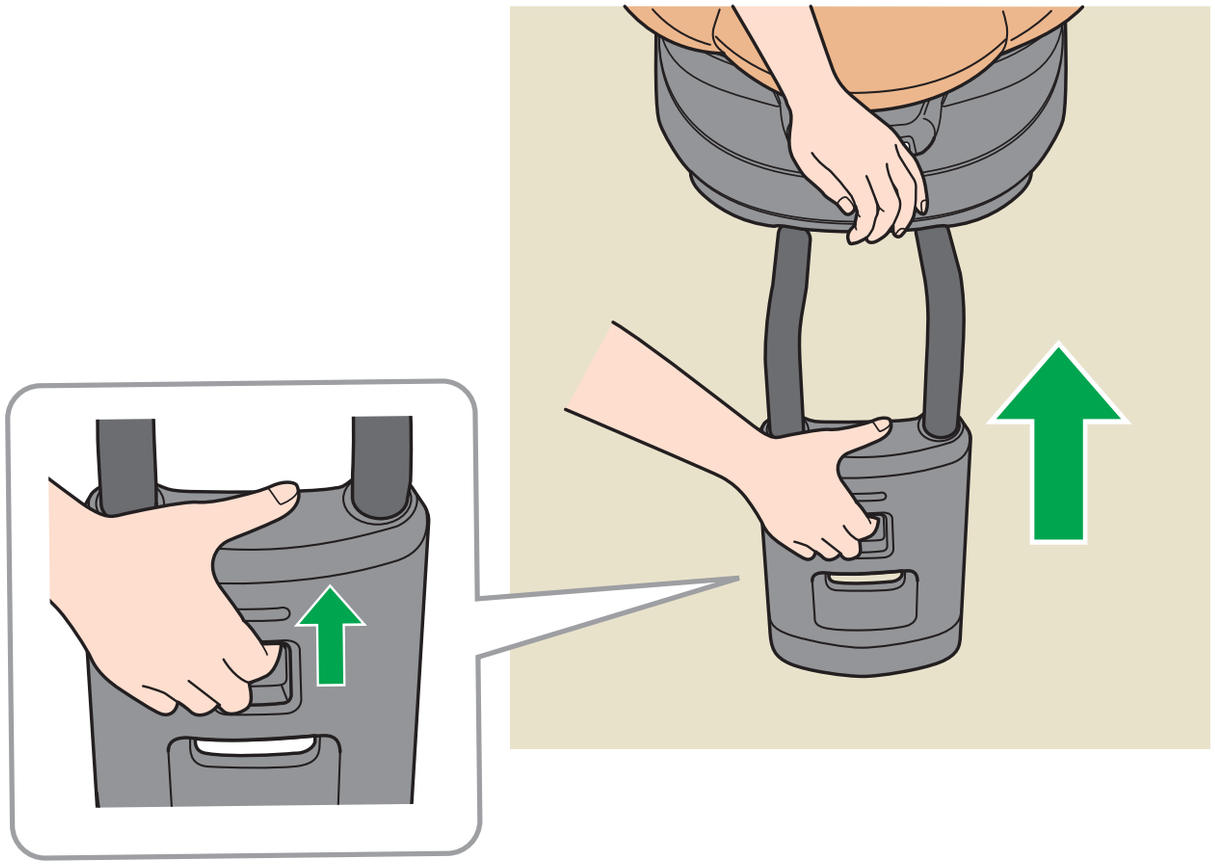


② サポートレッグが床面に接し、確実にロックされている。

正しく取り付けできない場合は、最初からやり直してください。
取り付けに関してご不明な点等がありましたら、巻末に記載のサービスセンターにお問い合わせください。

車からチャイルドシートを取り外す

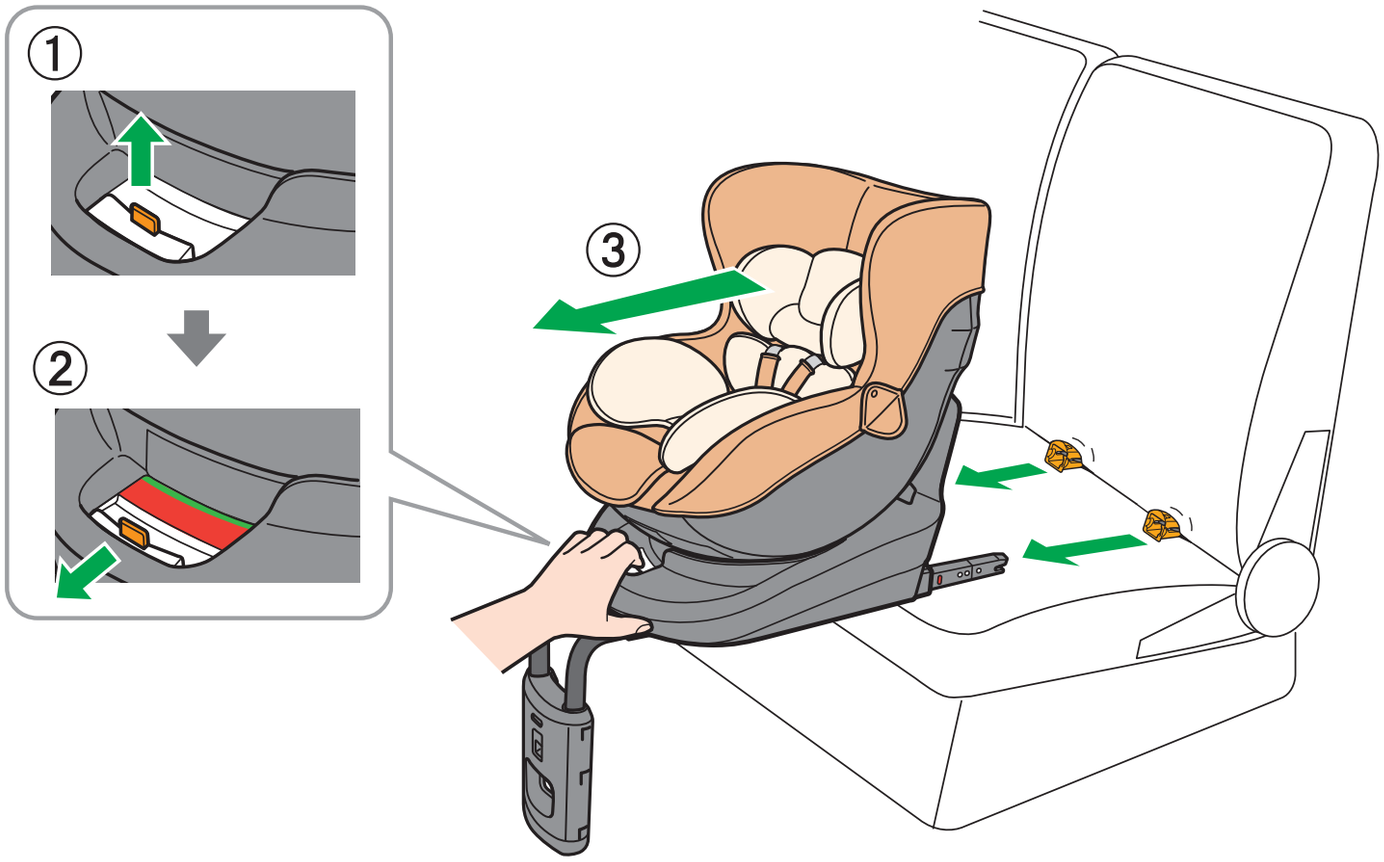
1 サポートレッグを縮める



サポートレッグ解除レバーを握りながら、伸ばしたサポートレッグを一番上まで縮める。

動画
取外方法

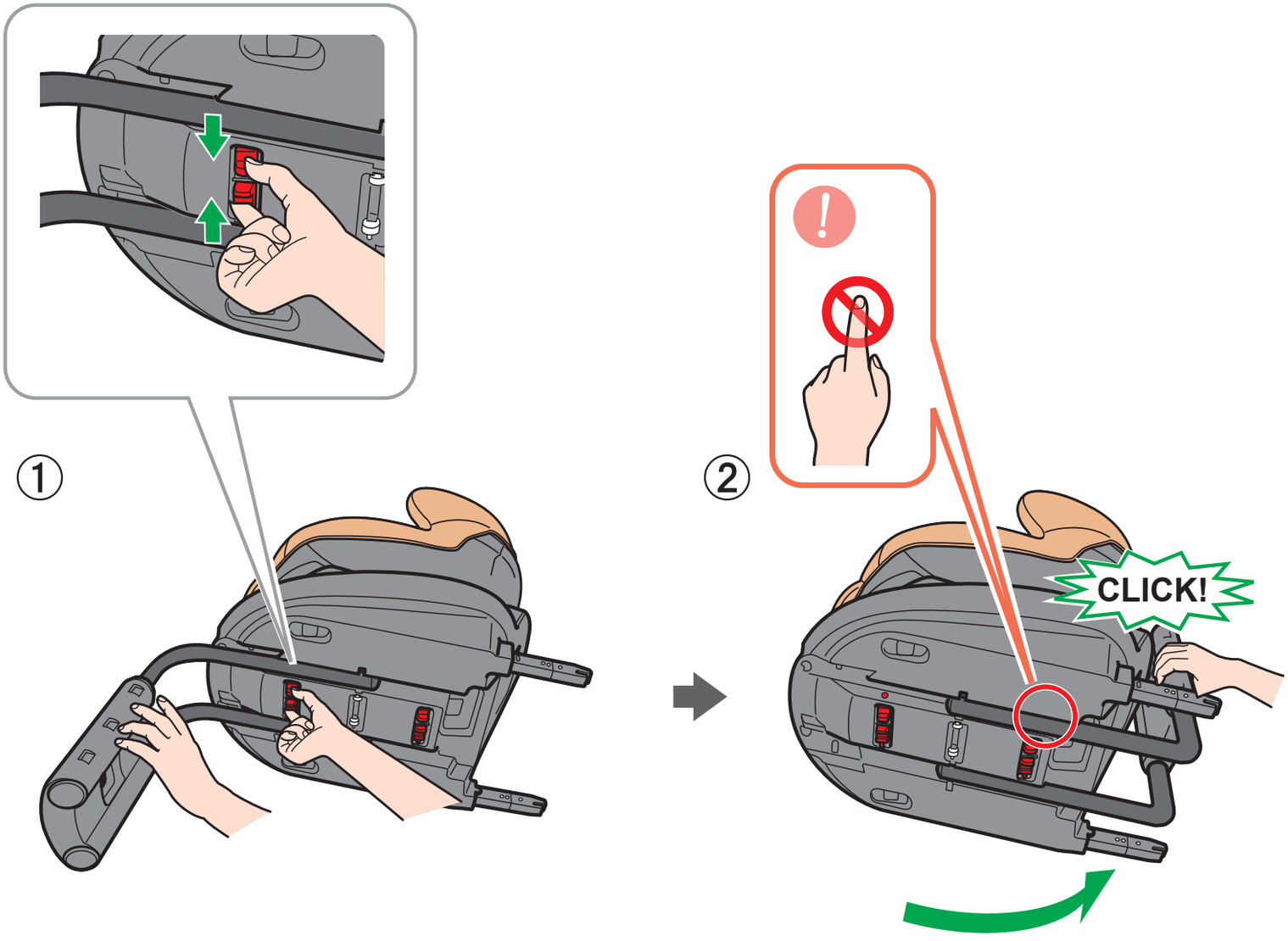
2 チャイルドシートを座席から引き抜く



① 解除レバーを上にスライドさせながら、
② コネクタレバーを**緑色**のラインが見えるまで強く握る。
③ そのまま、チャイルドシートを引っ張り、引き抜く。

車からチャイルドシートを取り外す

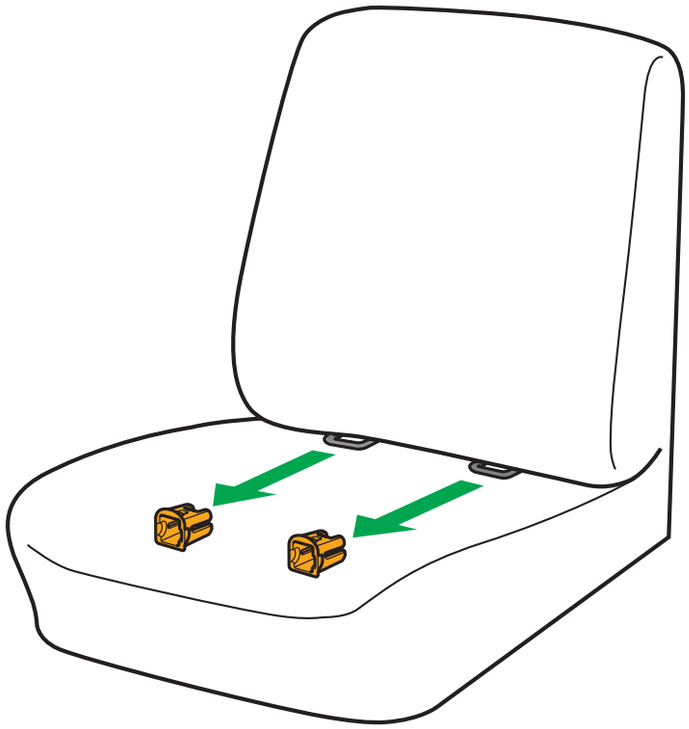
3 サポートレッグを収納する



① サポートレッグ解除レバーをつまみ、ロックを解除する。

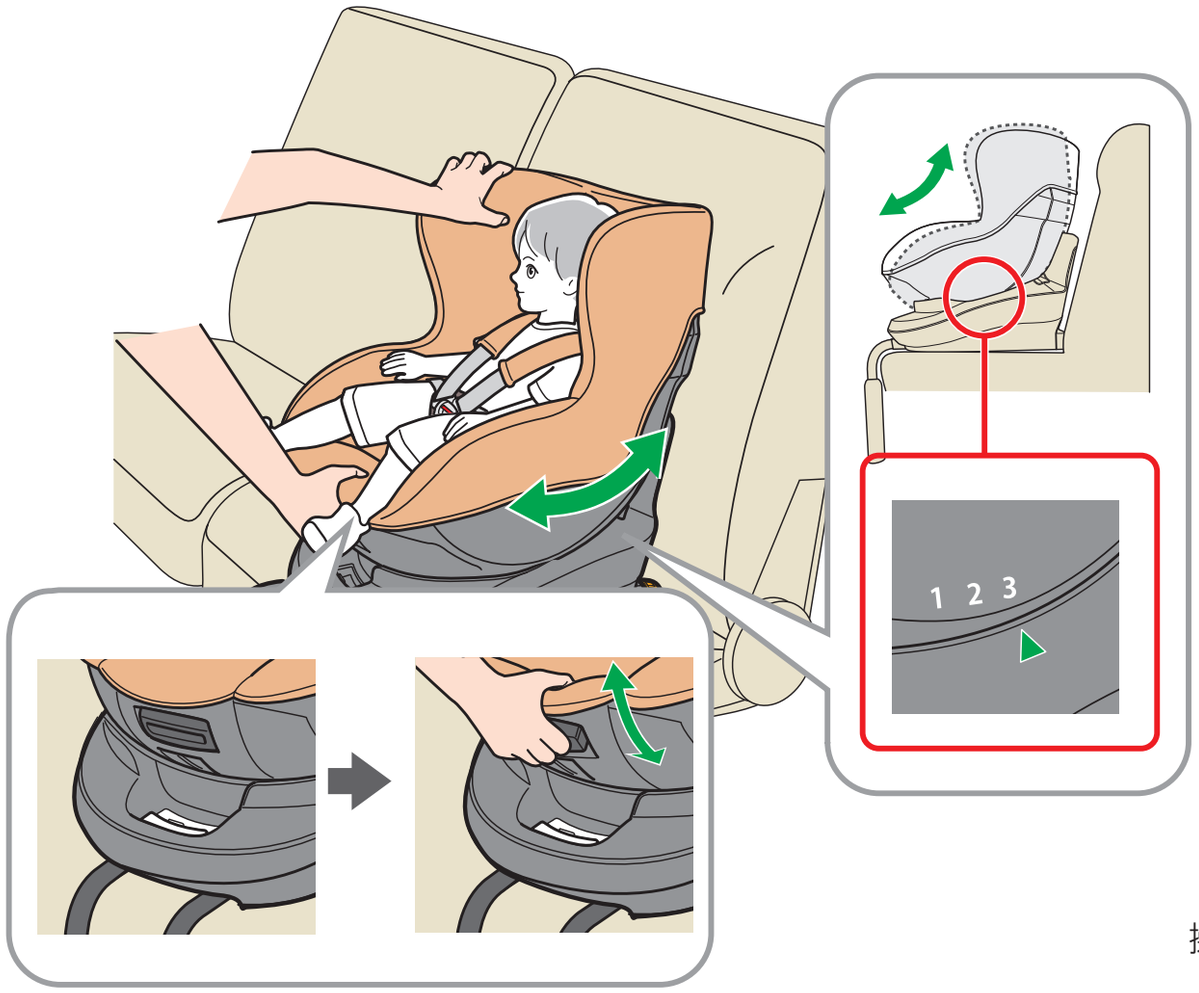
② サポートレッグをベース前面から背面に回転させ固定する。

4 車の座席からフィックスガイドを引き抜く



車の座席からフィックスガイドを引き抜く。

リクライニングの操作方法

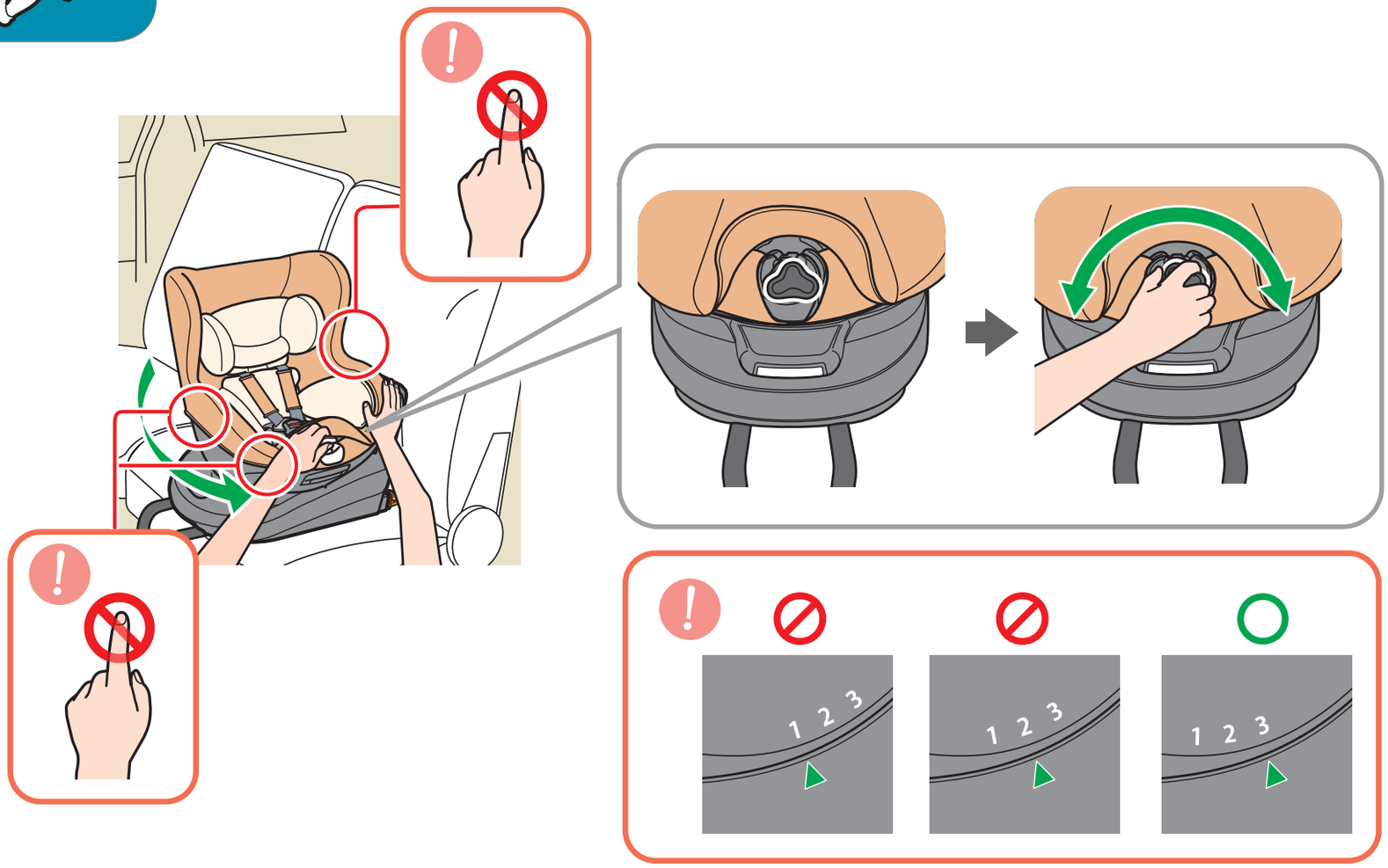


動画
リクライニング
操作方法・回転操作

リクライニングを調節する（前向き固定の場合のみ）

シートを前向きに固定している場合は、3段階にリクライニングを調節することができます。リクライニングはリクライニングレバーを握りながら、前後にスライドさせるように動かしてください。

回転操作方法



動画
リクライニング
操作方法・回転操作

回転操作をする（リクライニングが「3段目」の場合のみ回転します）
クルットノブを左右どちらかに最大まで回したままシートを回転させます。

⚠注意 回転操作する際は、可動部に指を挟まないようにご注意ください。

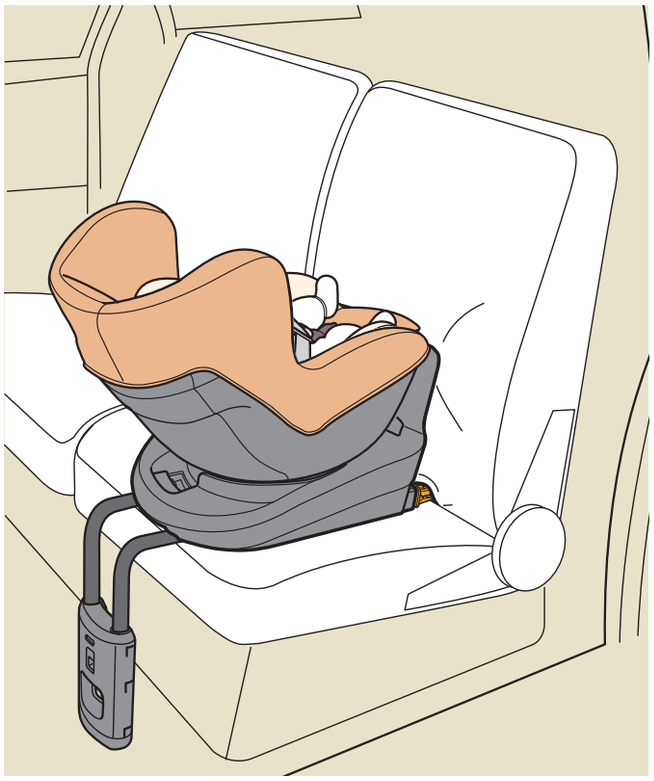
お子さまを乗せる

動画
お子さまの乗せ降ろし

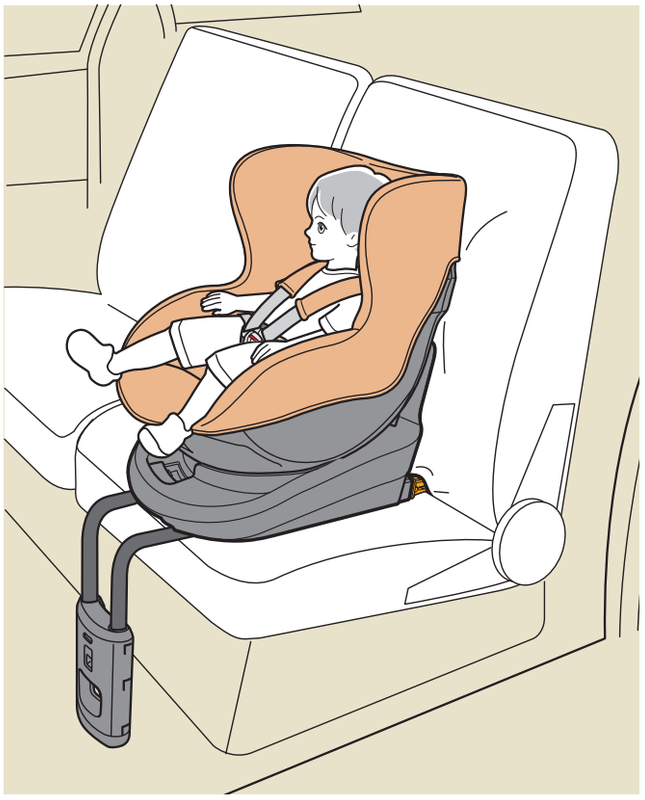
チャイルドシートの向きの確認

お子さまの体重によって、チャイルドシートを固定する向きが異なります。
お使いになるお子さまに適切な向きをご確認ください。

新生児 ～ 13 kg
後向き

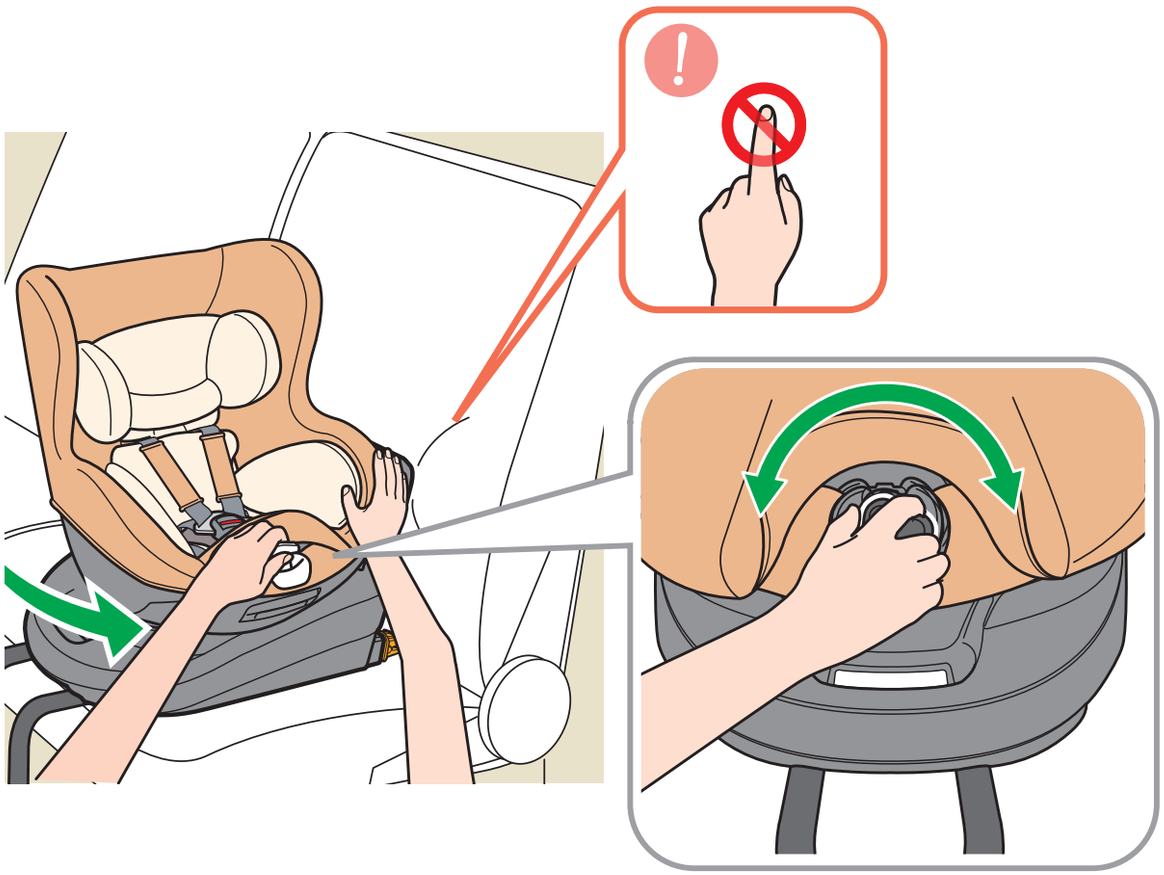


9 kg ～ 18 kg
前向き



⚠注意 お子さまを乗せる時は、極端に厚着をした状態で乗車させないでください。
肩ベルトがしっかり拘束できない場合があります。

1 シートを横向きに回転させる

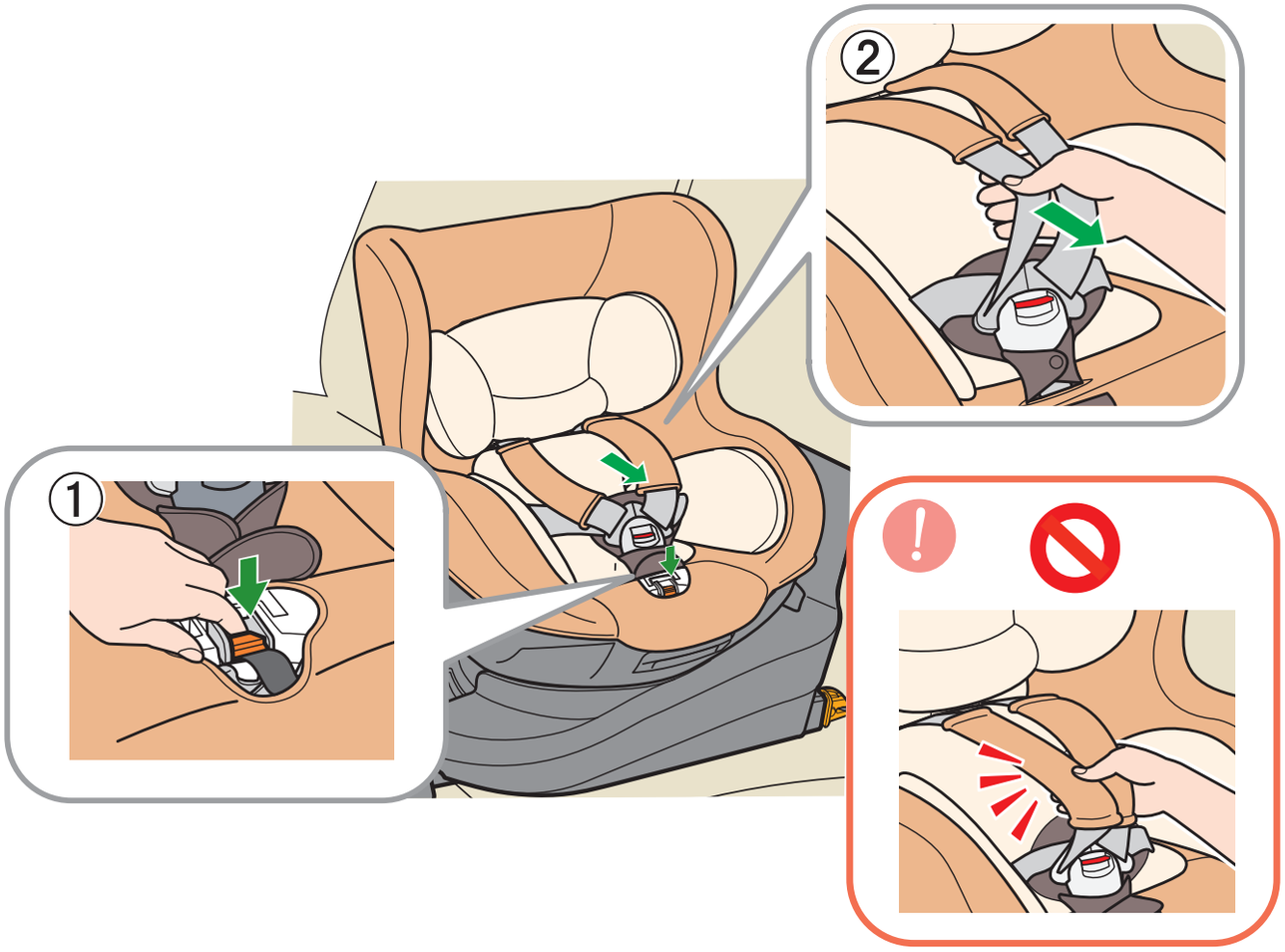


クルットノブを最大まで回す。

回転操作方法 ➡ 33 ページへ

お子さまを乗せる

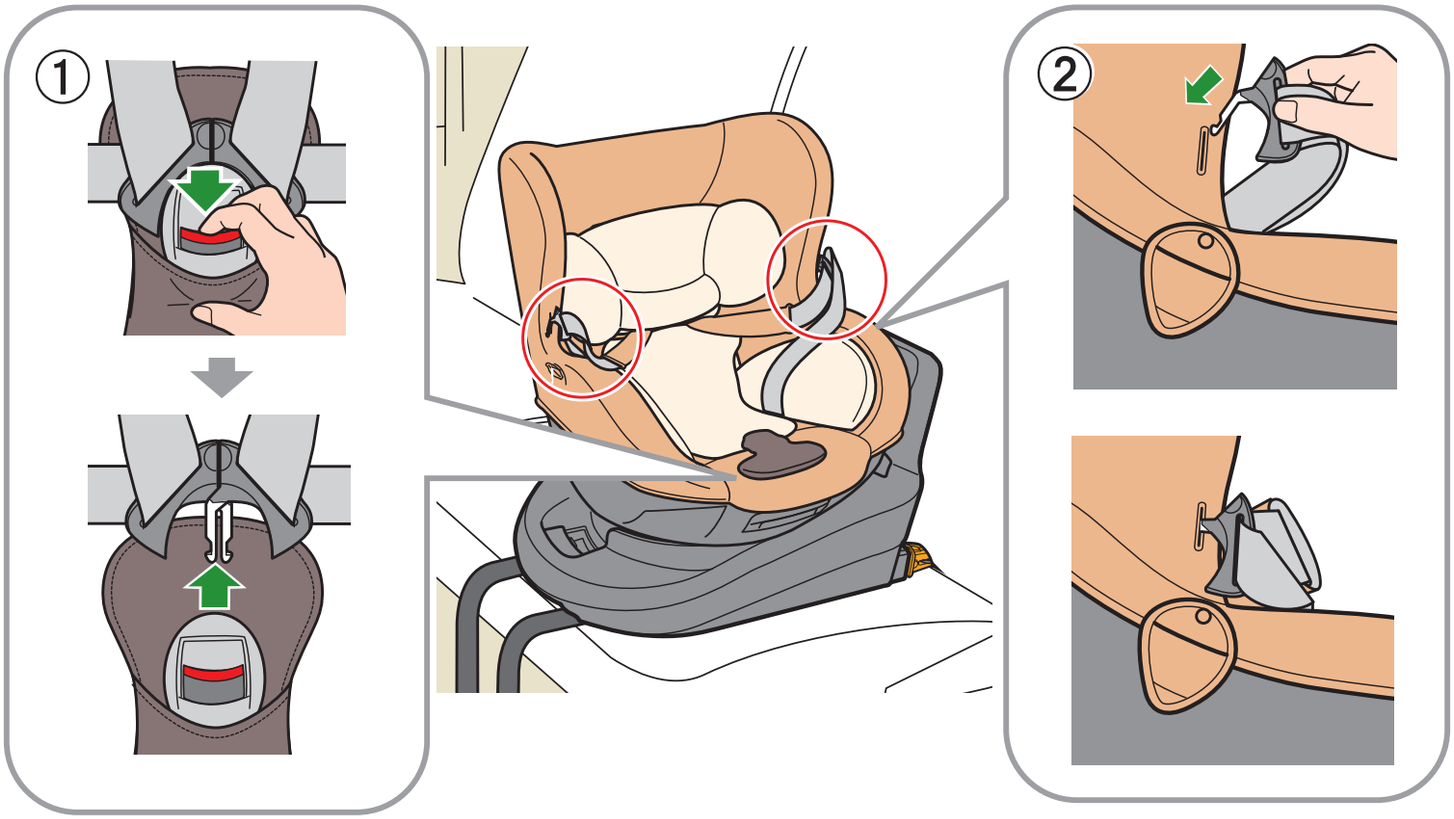
2 肩ベルトを緩める



① アジャストレバーを押しながら、

② 肩ベルトを引っ張り出して、肩ベルトを緩める。
肩ベルトは左右両方とも緩めてください。

3 バックルを解除する



① バックルの赤いボタンを下に押して、タングを外す。

② 外したタングをタングホルダーにかけておく。
　乗せ降ろしの際に、タングやベルトが邪魔にならず、便利です。

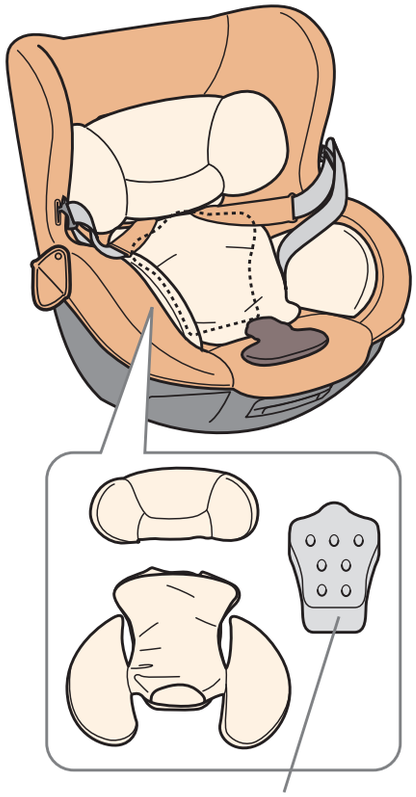
お子さまを乗せる

動画
ママの手クッション
“フラット”の使用方法

4 ママの手クッション“フラット”を調節する

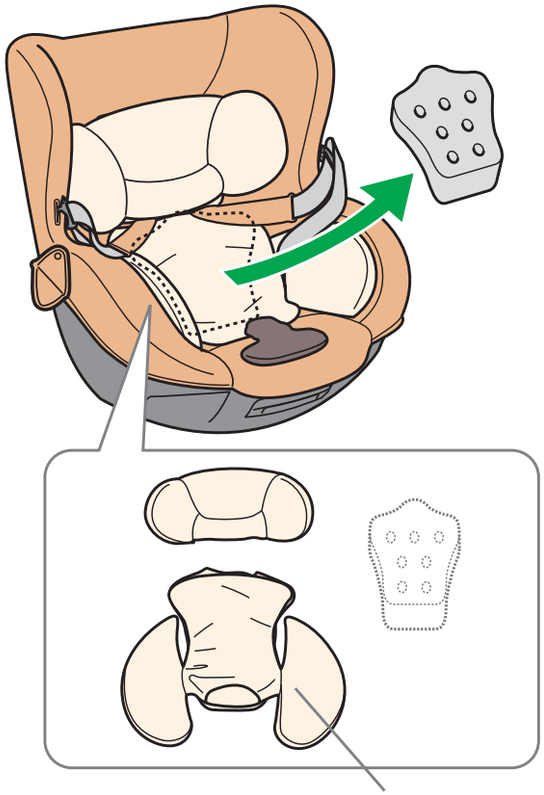
ママの手クッション“フラット”の使用期間の目安

新生児 ～ 7 kg
首すわり頃まで



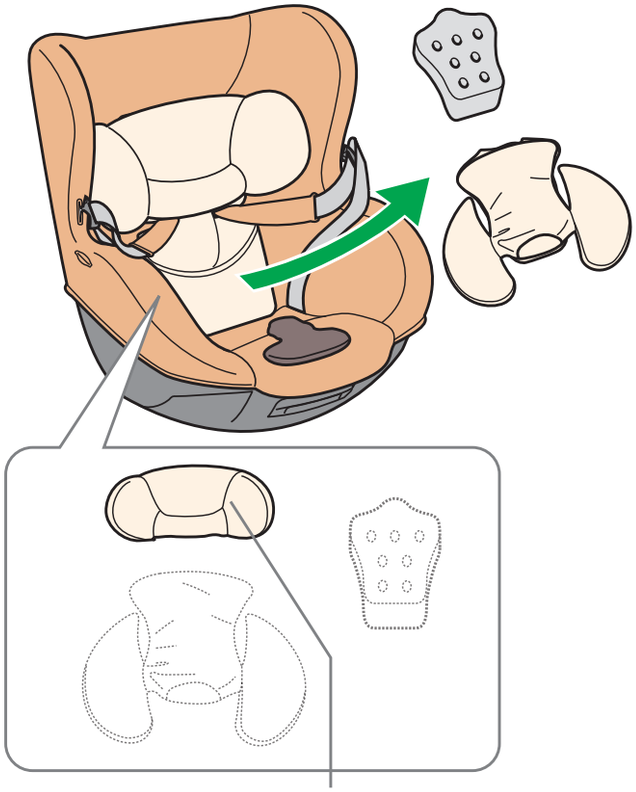
フラットクッションは、
首がすわり、胸周りが窮屈に
なるのを目安に外す。

7 kg ～ 8 kg
首すわり頃から



ヒップサポートは、腰周りが
窮屈になるのを目安に外す。

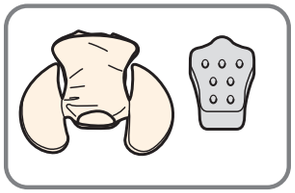
8 kg ～



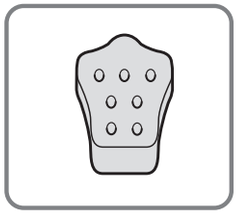
ヘッドサポートは、頭周りが
窮屈になるのを目安に外す。

お子さまの体格に合わせて、ママの手クッション“フラット”を調節してください。

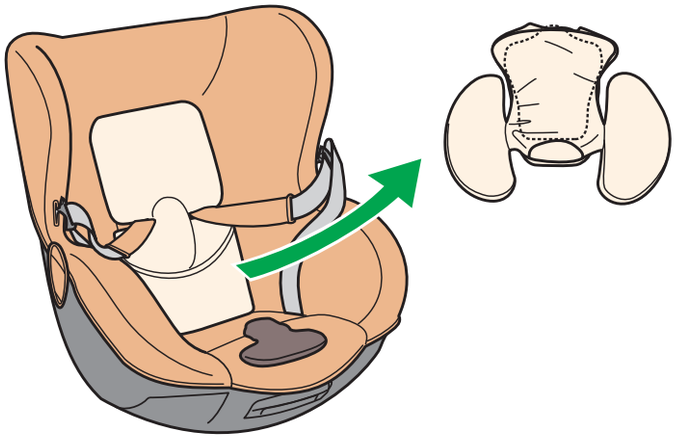
ママの手クッション“フラット”の取り外し方法

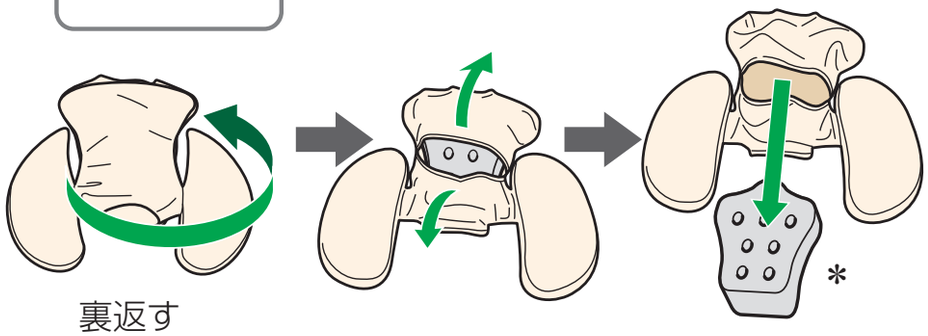


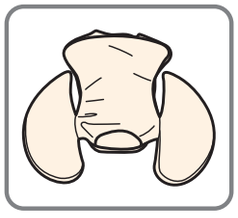
フラットクッション*、
ヒップサポートを取り外す



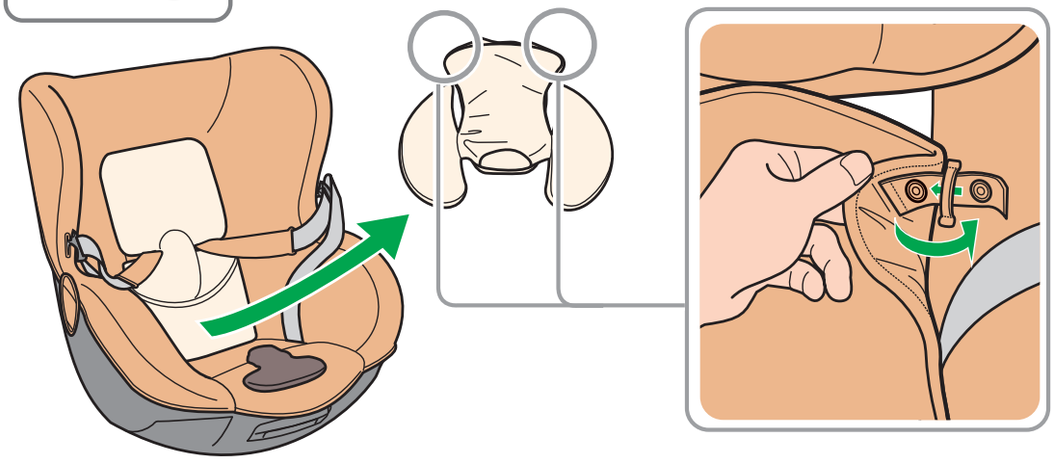
フラットクッション*
を取り外す





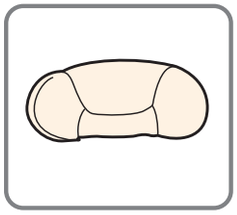


ヒップサポートを取り外す
（ヒップサポートの取り付け方は42ページを参照してください。）

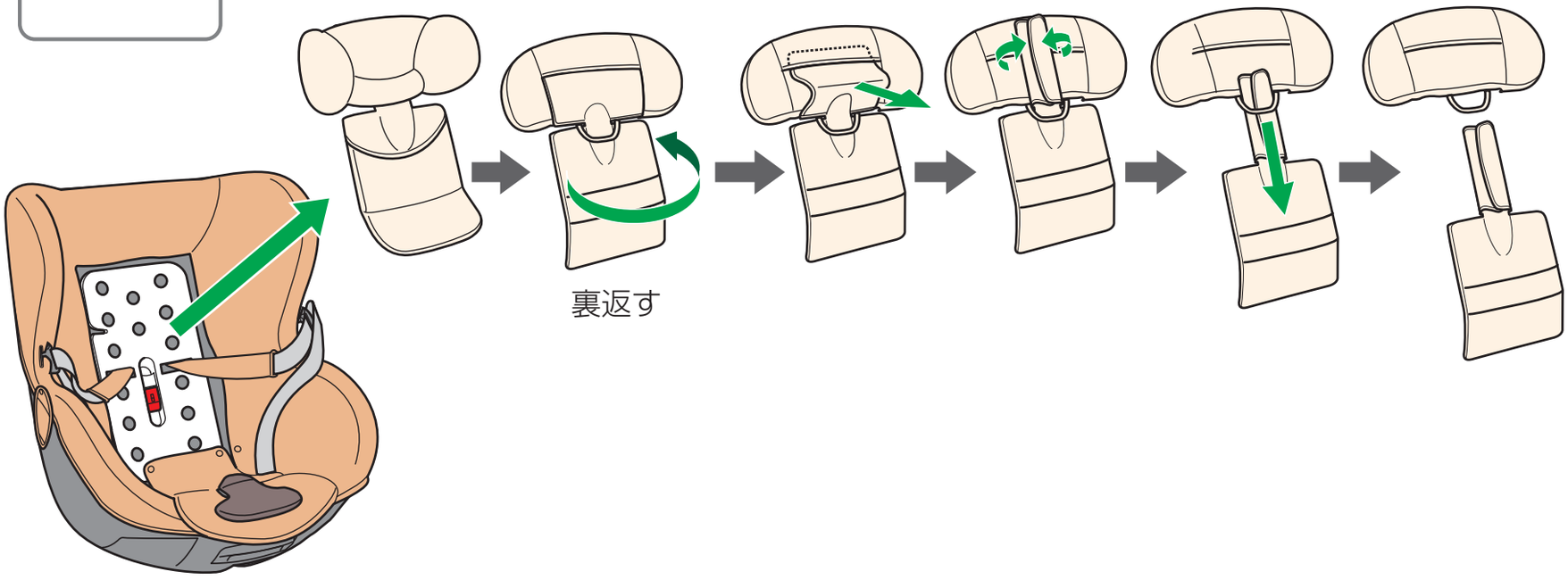


＊ グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

お子さまを乗せる

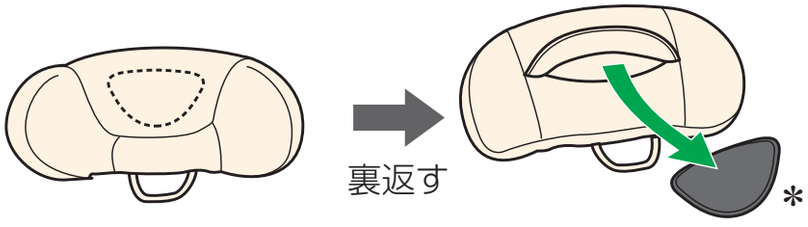


ヘッドサポートを取り外す



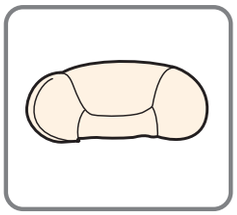
ヘッドサポートからヘッドクッション*を取り出す。

＊ ヘッドクッションはグレードにより付属されていない場合があります。



ヘッドサポートの裏側にある
ポケットからヘッドクッション*
を取り出す。

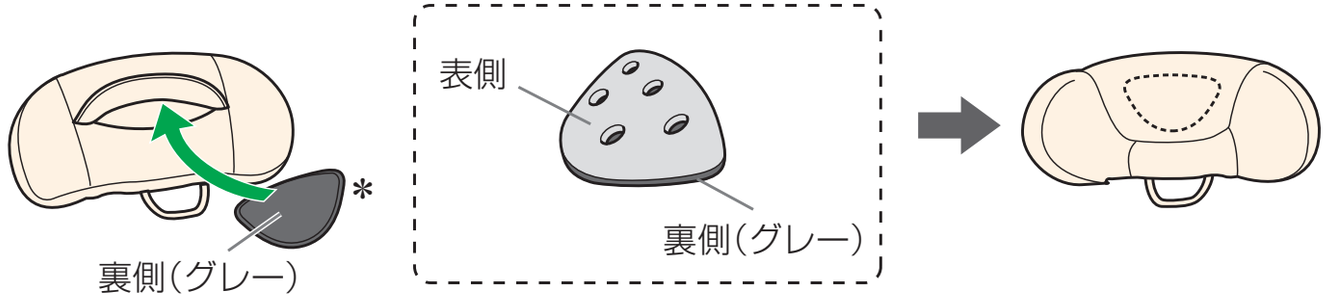
ママの手クッション“フラット”の取り付け方法



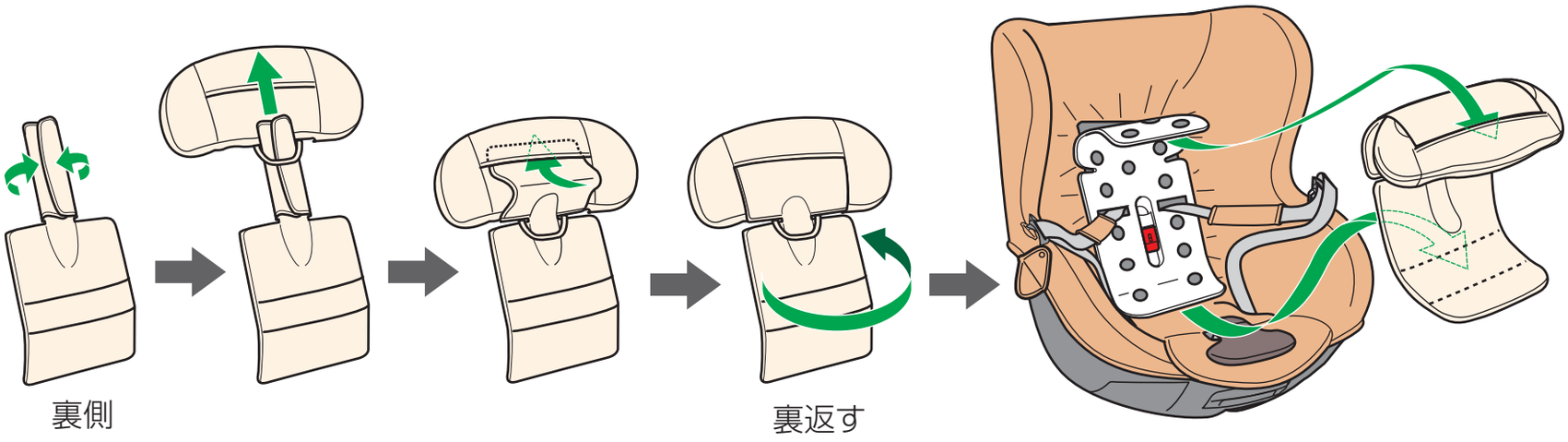
ヘッドサポートを取り付ける

ヘッドサポートにヘッドクッション*を戻す。

＊ヘッドクッションはグレードにより付属されていない場合があります。

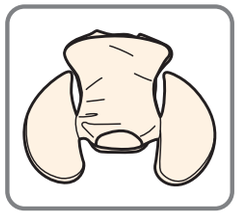


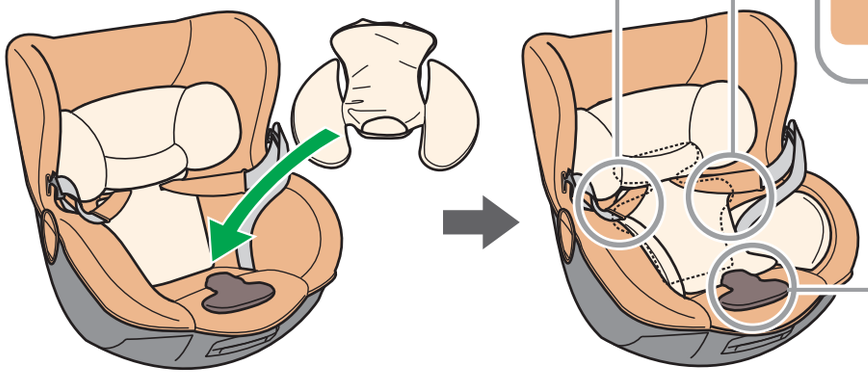
ヘッドサポートの裏側にあるポケットにヘッドクッション*を入れる。

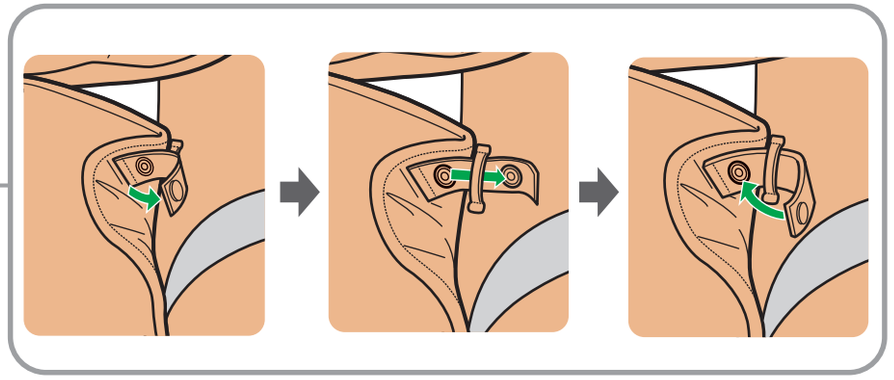


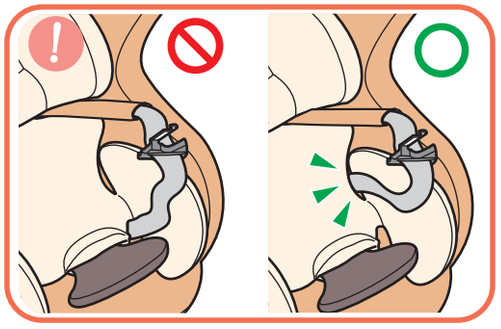
お子さまを乗せる

ヒップサポートを取り付ける

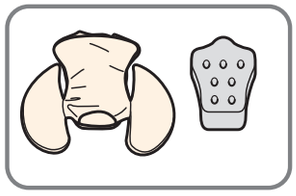


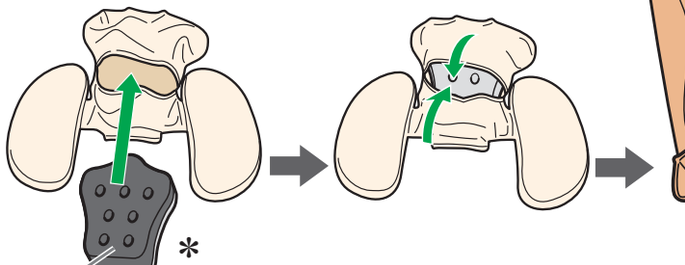


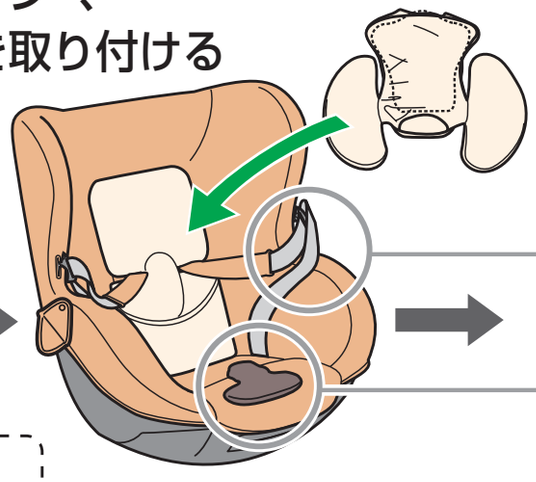


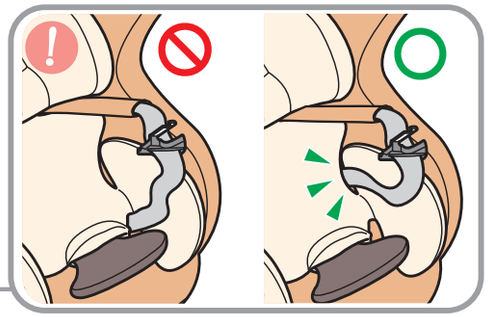


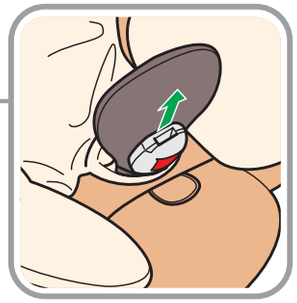
フラットクッション*、ヒップサポートを取り付ける





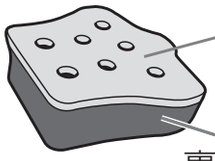






裏側（グレー）

2層クッションの場合



表側

裏側（グレー）

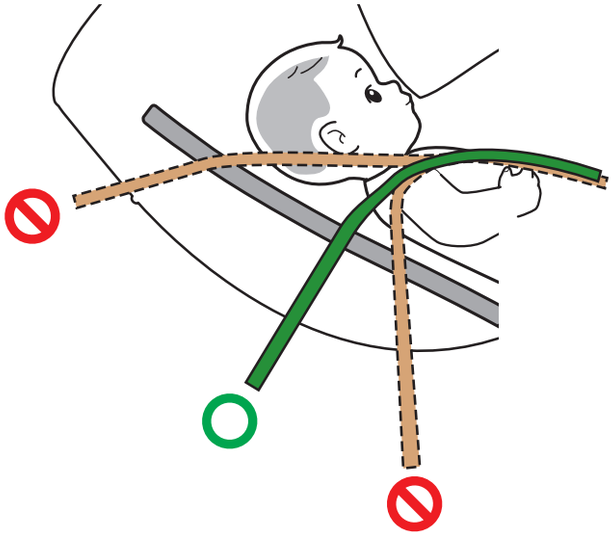
＊グレートにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。2層クッションの場合、グレーの面を裏側にして、ヒップサポートに入れてください。

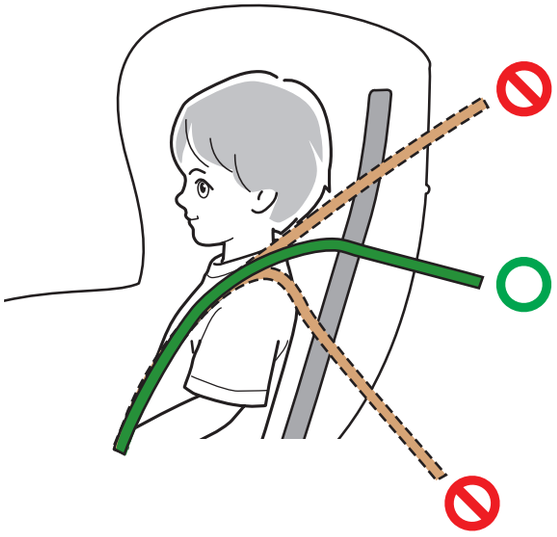
動画
肩ベルトの調節・
お子さまを乗せた後の確認

5 お子さまを乗せ、肩ベルトの高さを調節をする

新生児 ～ 13 kg
後向き

9 kg ～ 18 kg
前向き





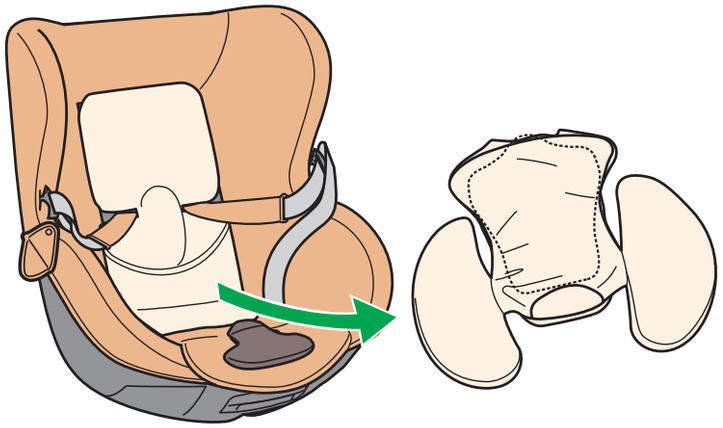
肩ベルトはお子さまの肩から背もたれに対して垂直になるように調節する。

⚠警告

正しい肩ベルトの高さに調節されていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負うおそれがあります。

お子さまを乗せる

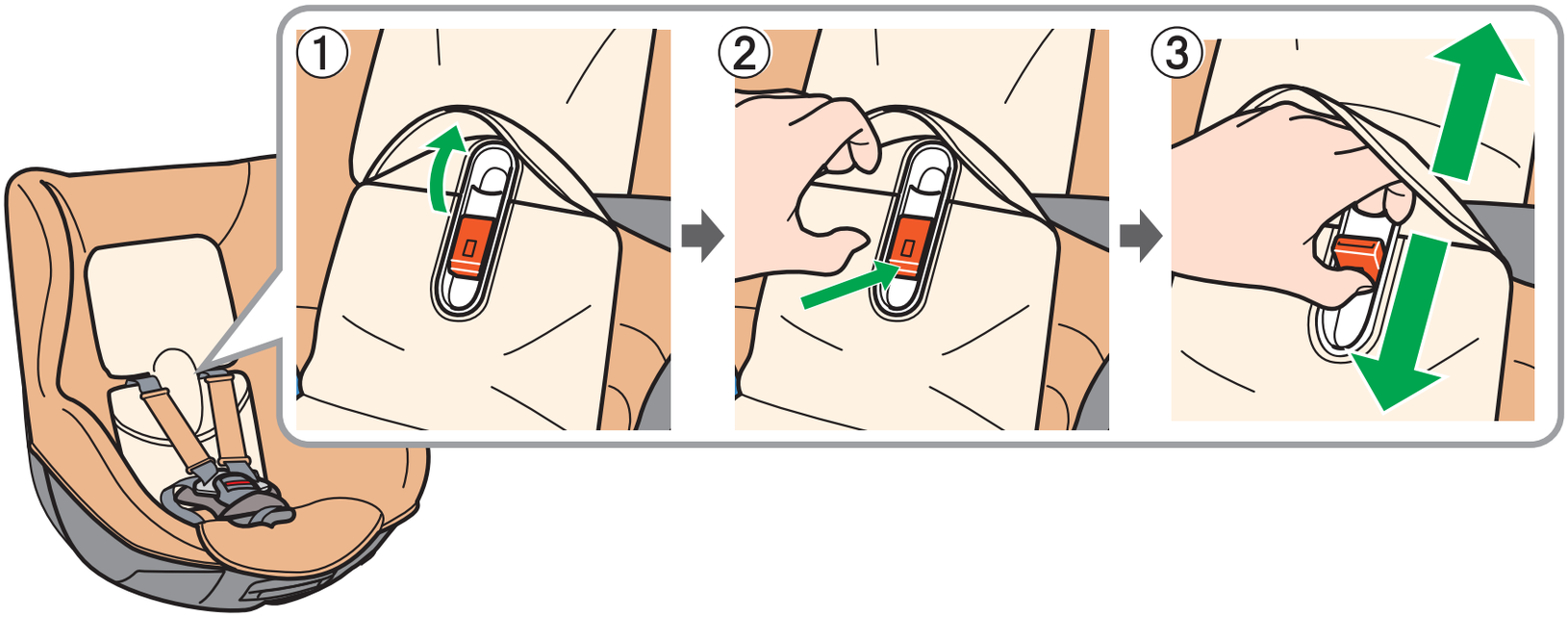
5 -1 ヒップサポートを取り出す（装着されている場合のみ）



ヒップサポートを取り外す。

ヒップサポートの取り外し方法 ➡ 39 ページへ

5 -2 肩ベルトの高さを調節する



① 背もたれカバーをめくる。
② 肩ベルト調節レバーをつまんで、
③ 適切な高さに調節する。
調節が終わったら、必要に応じて、ヒップサポートを取り付けます。

参考

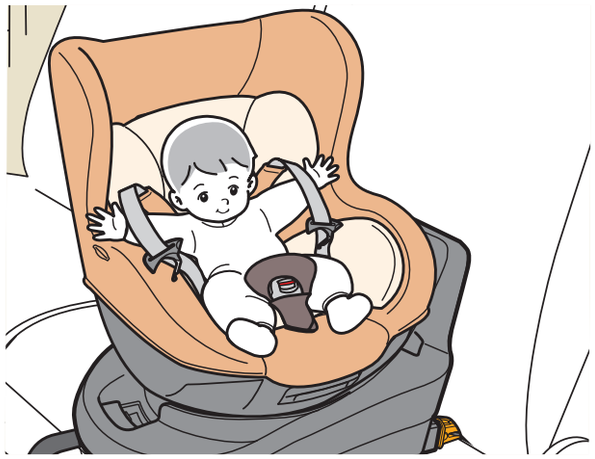
肩ベルト調節レバーをつまんでも、高さ調節できない場合は、肩ベルトを緩めてから調節してください。

肩ベルトの緩め方 ➡ 36 ページへ

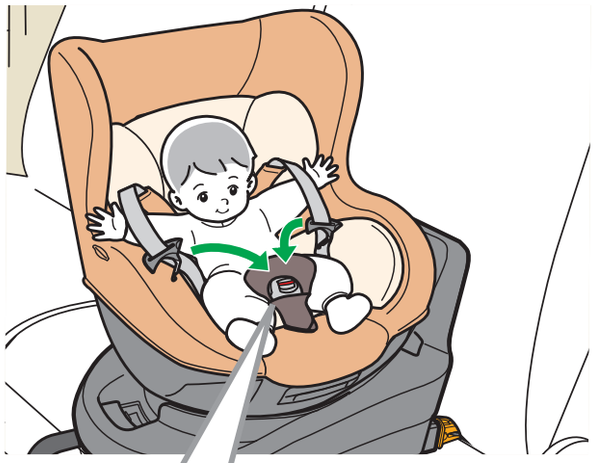
お子さまを乗せる

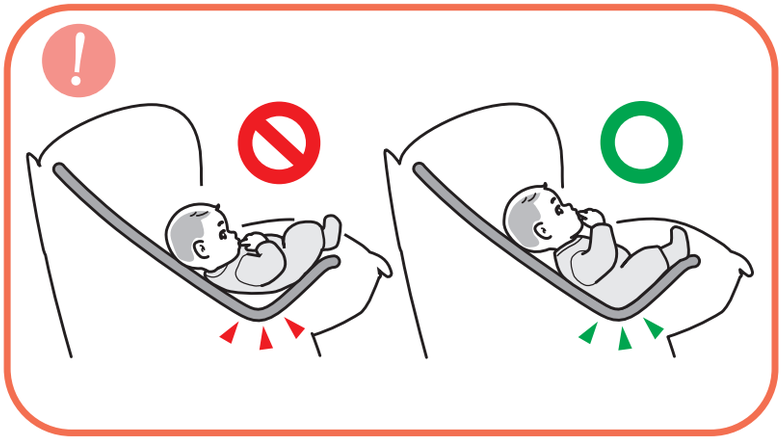
6 バックルを差し込む

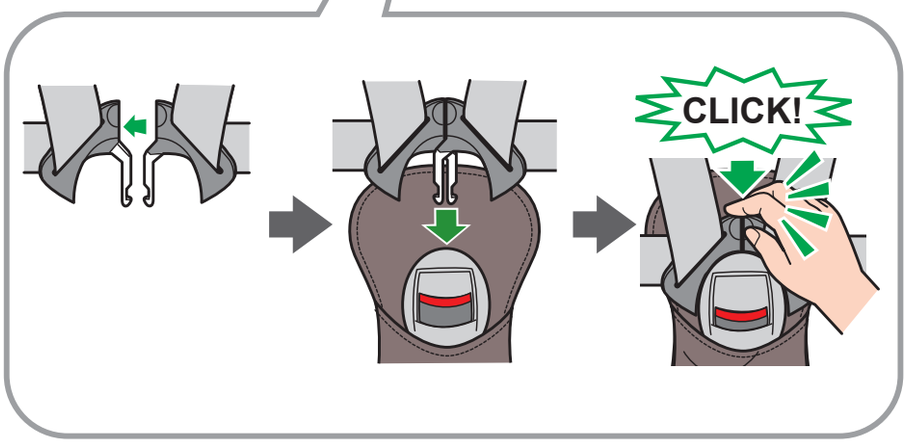
①



②



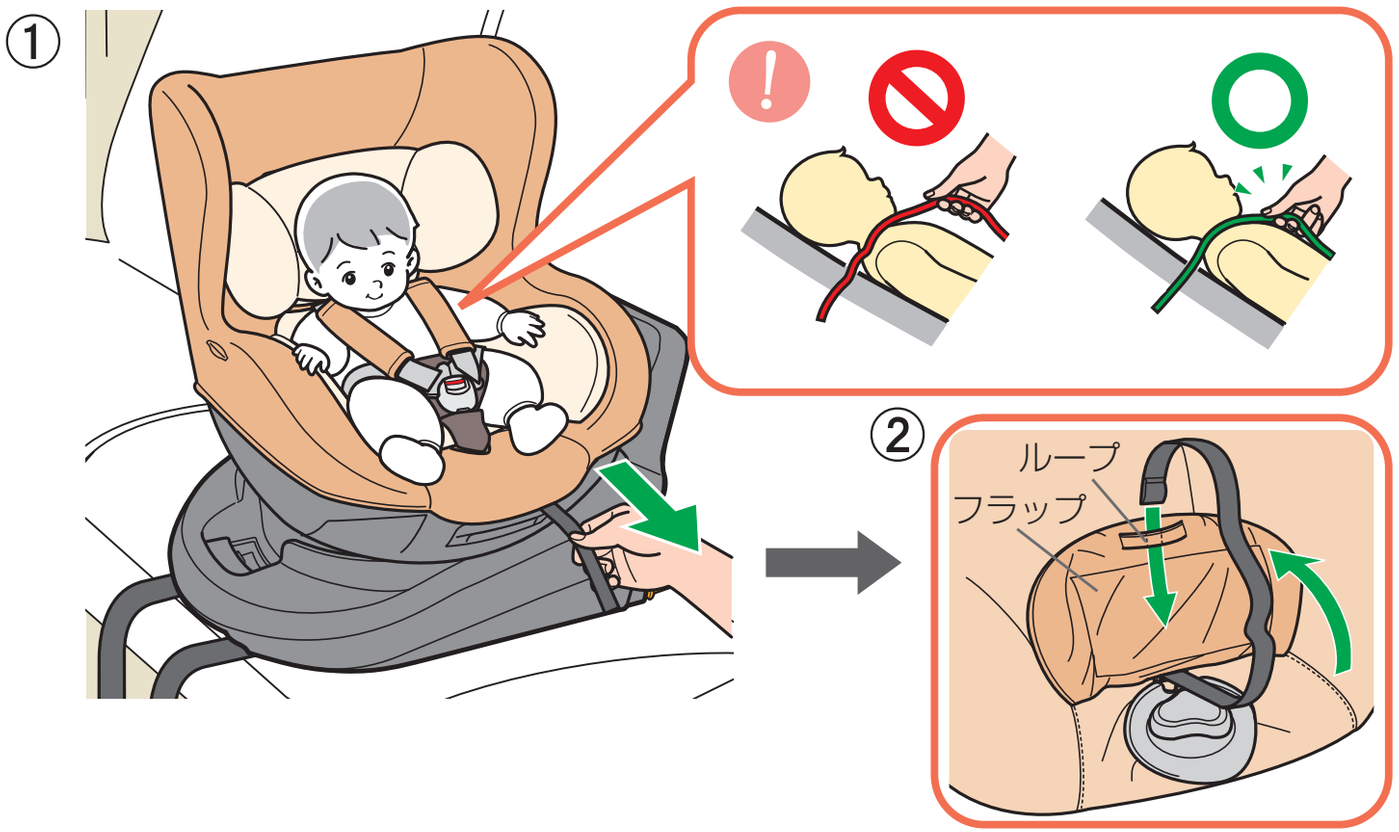




① お子さまの腕に肩ベルトを通す。
② 左右のタングを重ね合わせ確実にバックルに差し込む。

⚠注意 お子さまのおしりが一番深い位置にくるように座らせてください。

7 肩ベルトを締める



① 肩ベルトアジャスターを引き、肩ベルトでお子さまをしっかりと拘束する。
② 引いた後の肩ベルトアジャスターは、フラップの裏側にあるループに通す。

⚠注意 お子さまの胸部と肩ベルトの間に大人の指が１～２本入る程度まで肩ベルトアジャスターを引く。

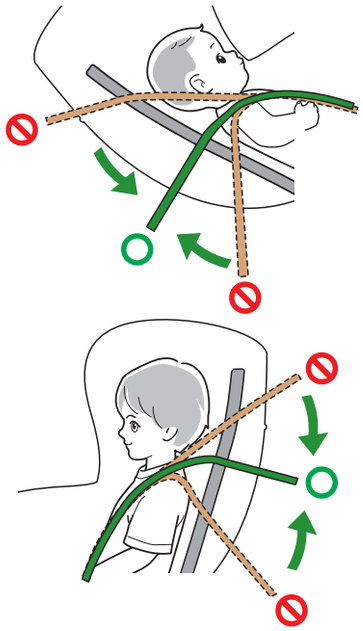
お子さまを乗せる

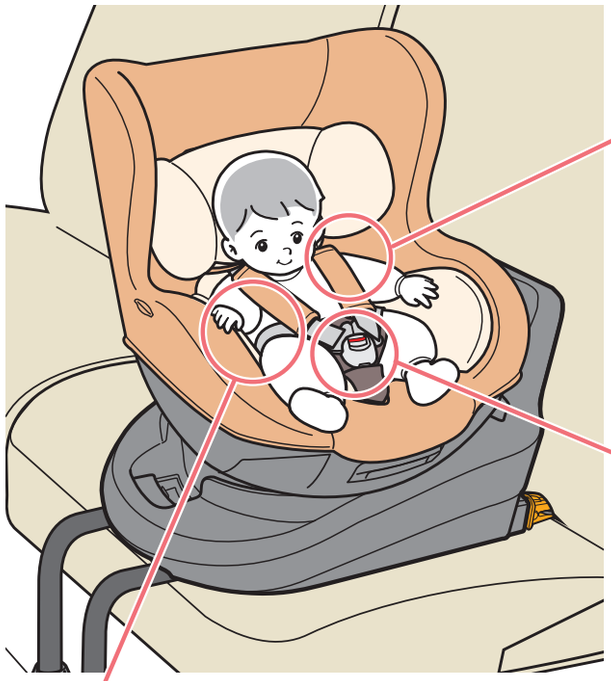
動画
肩ベルトの調節・
お子さまを乗せた後の確認

お子さまを乗せた後の確認

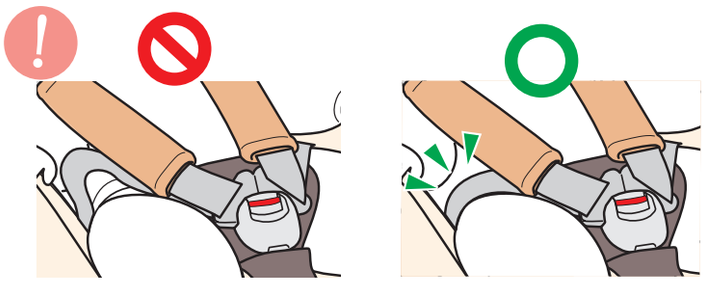
お子さまを乗せ終わったら、次のポイントを確認する。

① お子さまの肩から背もたれに対して肩ベルトが垂直になっている。

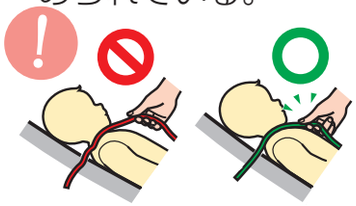




② 腰ベルトがお子さまの骨盤にあたっていて、緩んでいない。



③ お子さまの胸部と肩ベルトの間に大人の指が1～2本入る程度まで肩ベルトが締められている。



④ バックルのインジケーターが緑色になっている。

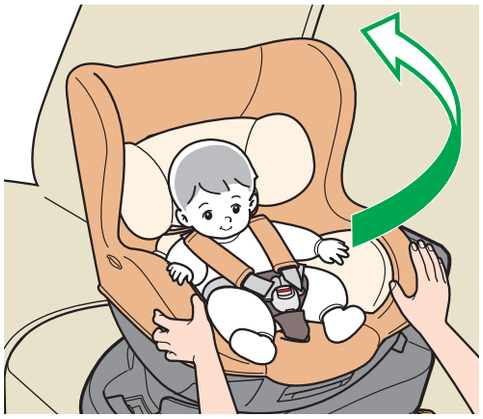
⑤ お子さまの体格に合わせてママの手クッションが調節されている。

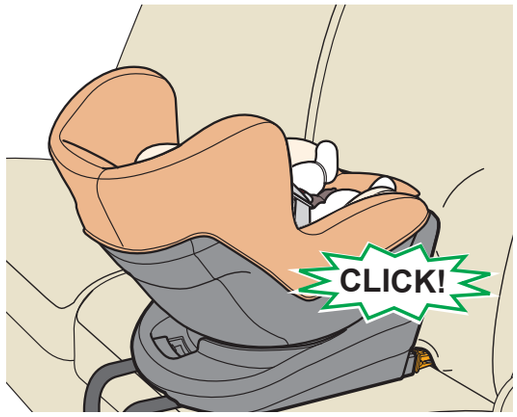
⑥ お子さまのおしりが一番深い位置になっている。

⑦ 腰ベルトがねじれていない。

新生児から1才半頃まで(～ 13 kg)のお子さまの場合

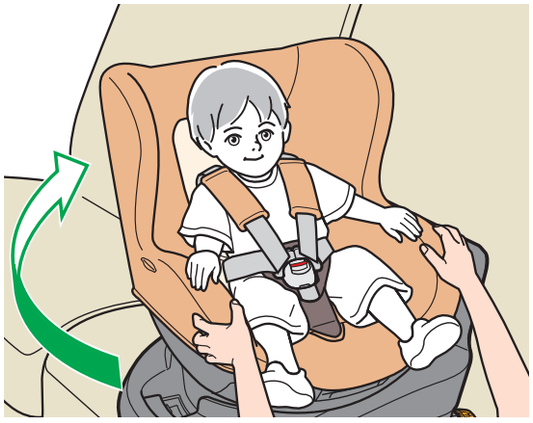
8 後向きにシートを回転させて、固定する。

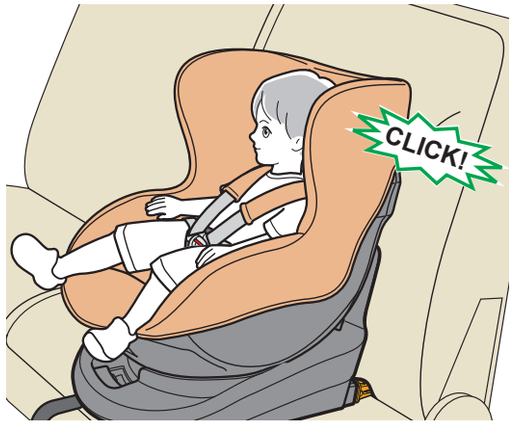




9 ヵ月頃から4才頃まで(9 kg ～ 18 kg)のお子さまの場合

8 前向きにシートを回転させて、固定する。





⚠ 警告

走行中は、回転機構を必ずロックさせて下さい。ロックさせない状態で使用すると、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負うおそれがあります。

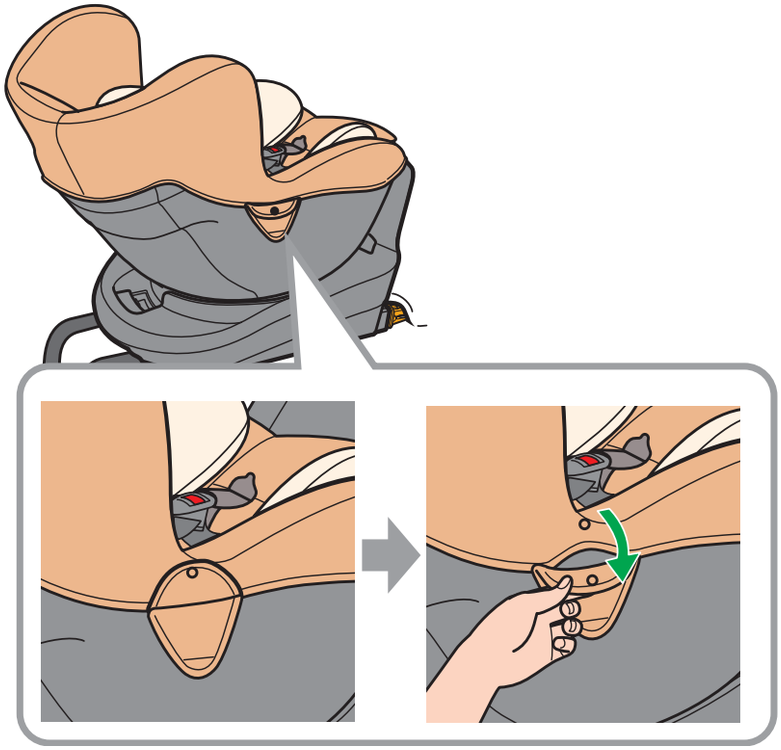
日よけを取り付ける

（日よけ付きモデルの場合）

動画

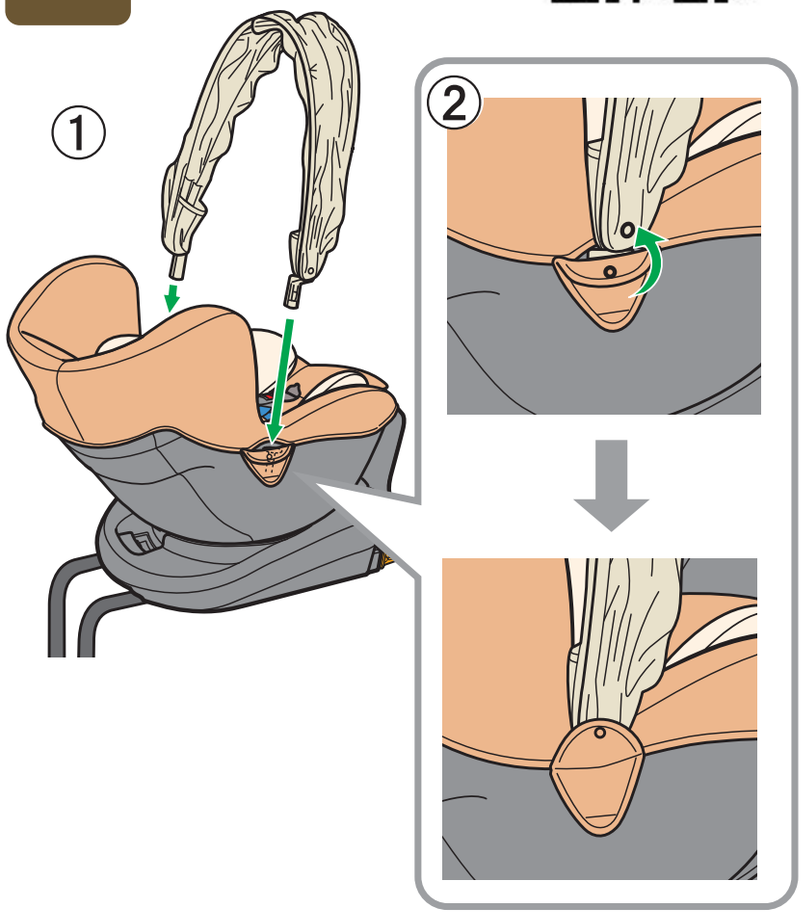
日よけの取付・使用・取外方法

1 本体カバーのボタンを外す



本体カバーの両側にあるボタンを外す。

2 日よけを差し込む



① 日よけを差し込む。*

② 本体カバーのボタンと日よけのボタンを留める。

* 日よけに向きはありません。
お好きな向きでご使用ください。

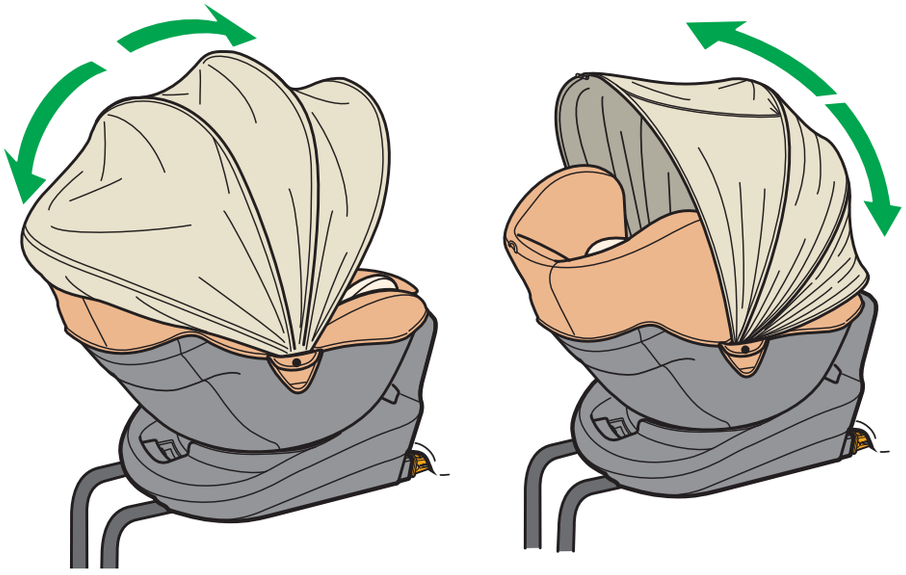
日よけの使い方

動画
日よけの取付・
使用・取外方法

日よけの使用期間の目安

日よけを折りたたんだ状態で、お子さまの頭が日よけに干渉しない間は、使用できます。
お子さまの体重が15 kgを超えた場合は、日よけを外してください。

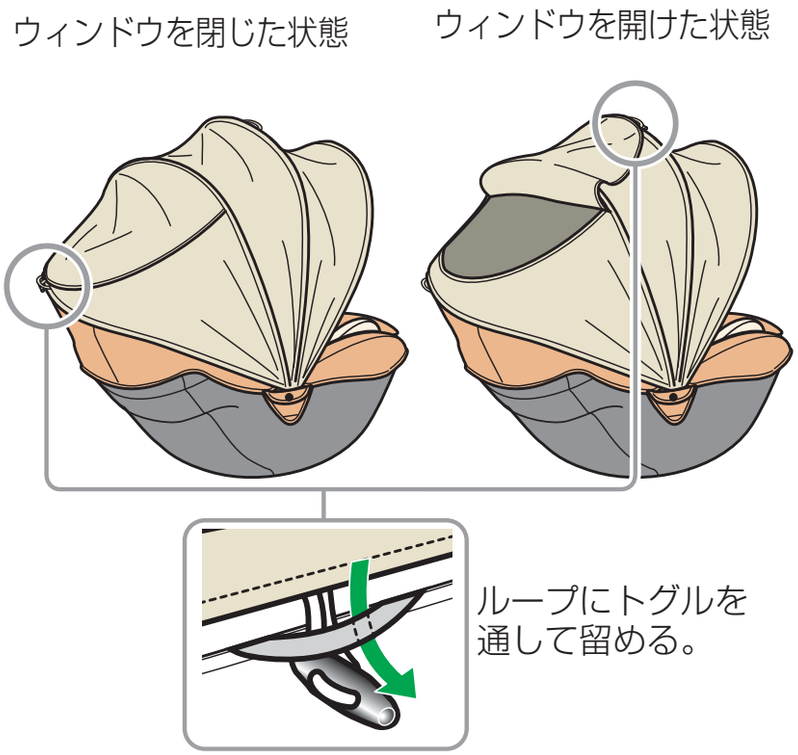
日よけを広げる



日よけを広げる。
日よけは日差しの方向にあわせて前後に
自由に調節してください。

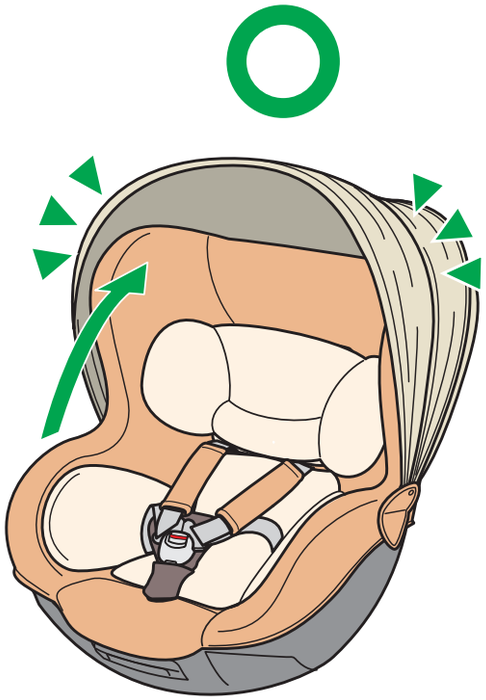
ウィンドウを留める

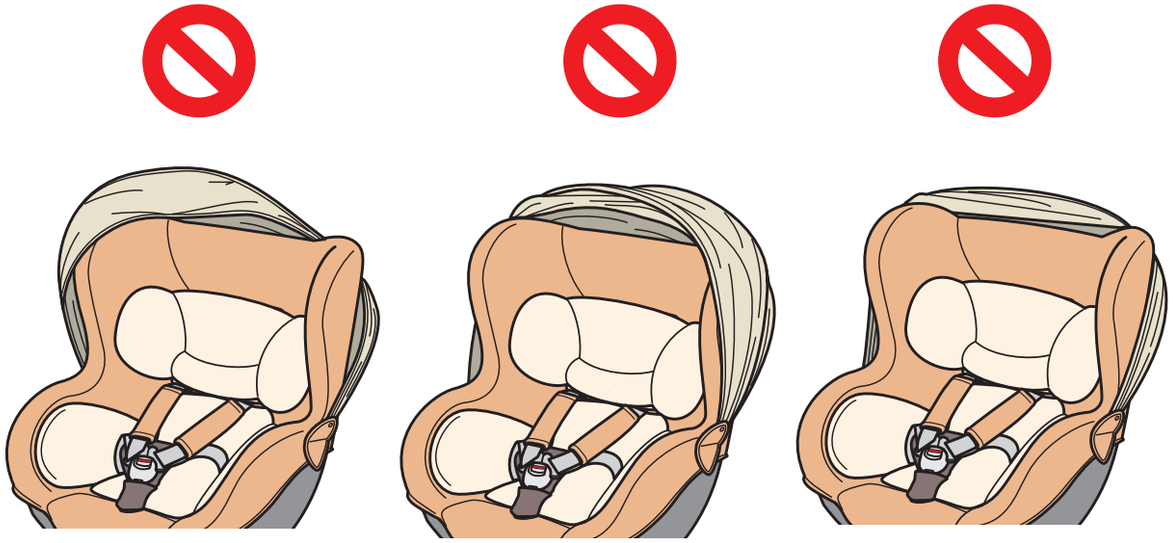
＊グレードにより仕様が異なるため付属されていない場合があります。



日よけの使い方

日よけを折りたたむ





日よけを折りたたむ際、シートの張り出しに日よけのフレームを掛けないでください。夏場の高温下の車内で、フレームが変形する可能性があります。

⚠注意 本品を持ち運びする際は日よけ部分を持たないでください。
破損するおそれがあります。
日よけをご使用中にお子さまの頭が日よけにかかる場合や、お子さまの乗せ降ろしの際に、日よけが妨げになる場合は、日よけを取り外してください。

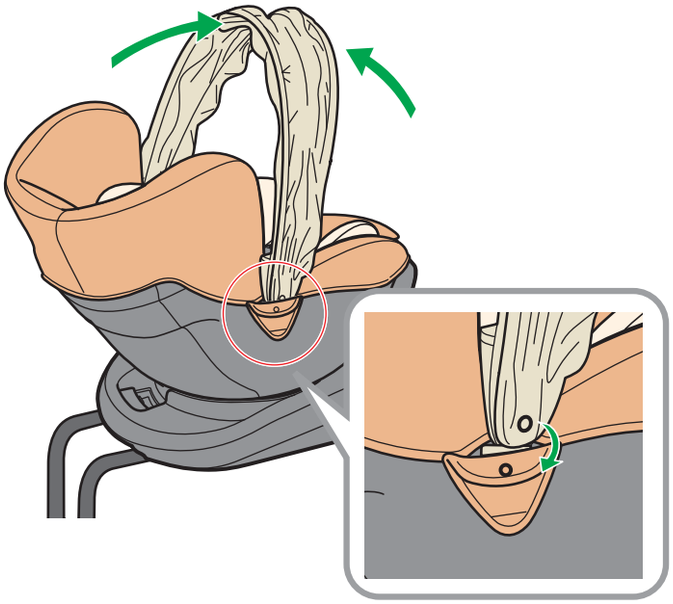
日よけを取り外す

（日よけ付きモデルの場合）

動画

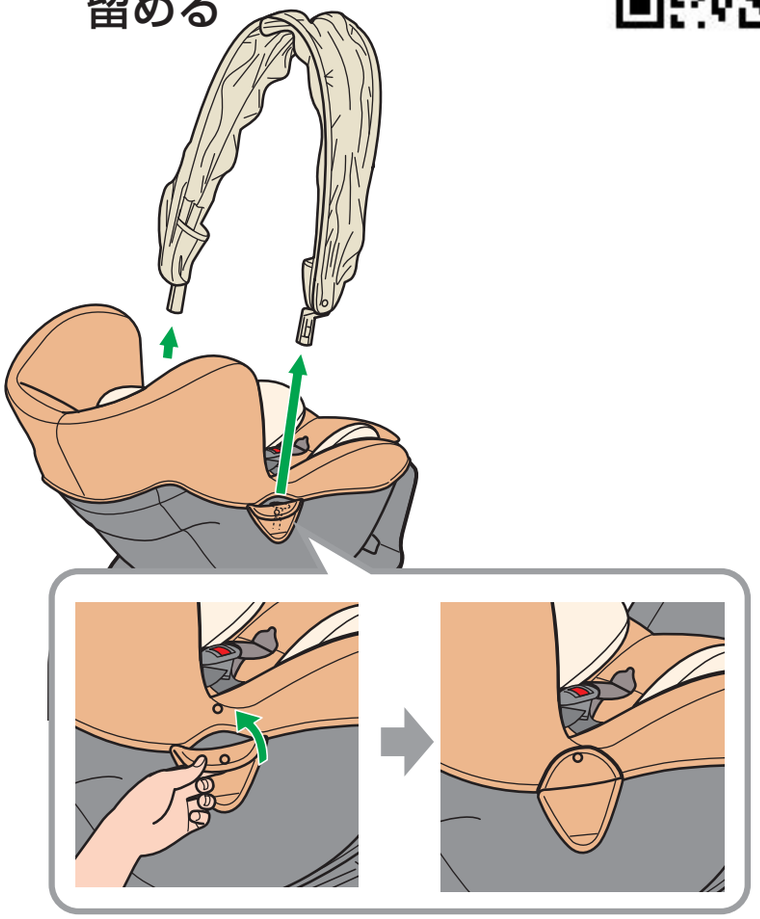
日よけの取付・
使用・取外方法

1 本体カバーのボタンを外す



本体カバーのボタンと日よけのボタンを外す。

2 日よけを取り外し本体カバーのボタンを留める



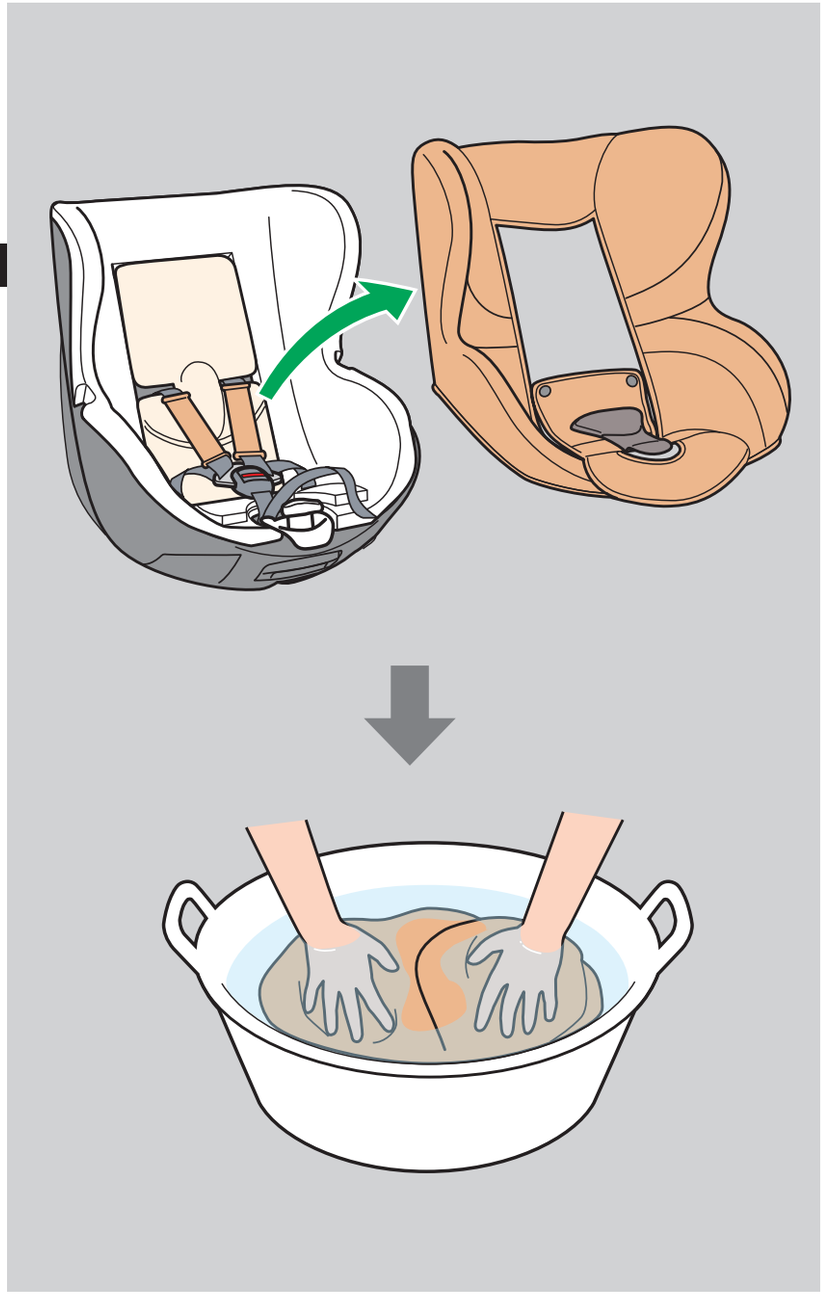
日よけを引き抜く。
本体カバーのボタンを留める。

⚠注意 日よけを取り外すときは、無理に引っ張らないでください。
破損するおそれがあります。

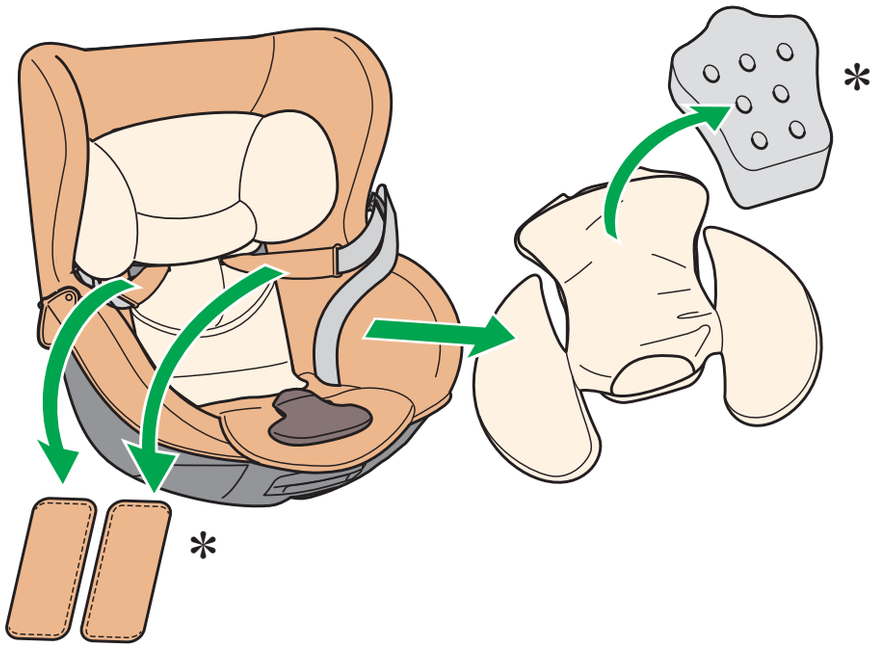
カバーを取り外す

（付属するクッションはグレードにより異なります。）

動画
カバーの取外方法・
取付方法



1 ヒップサポート、フラットクッション＊、よだれパッド＊を取り外す

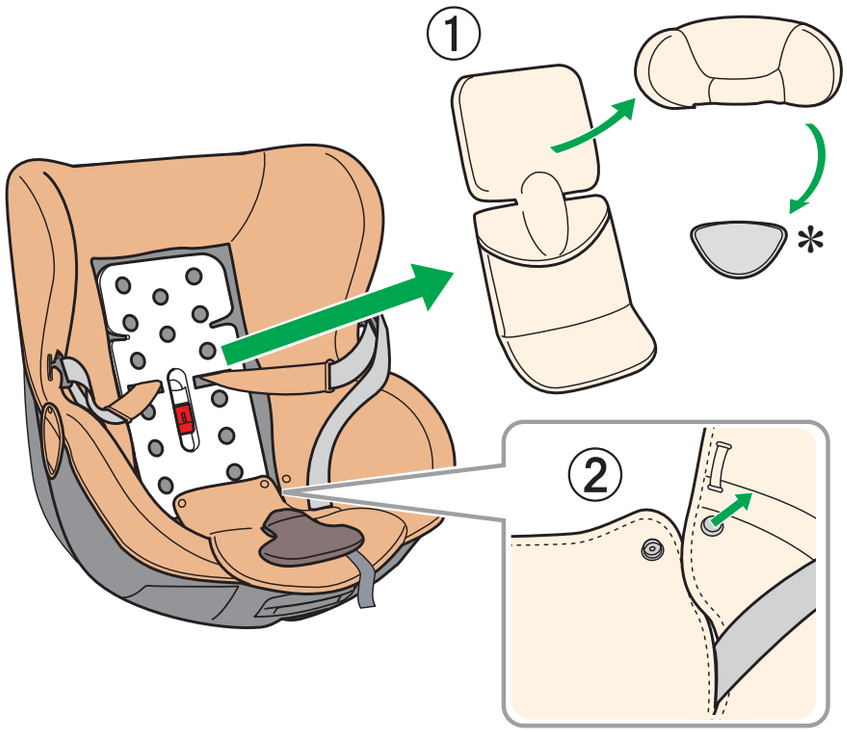


ヒップサポート、フラットクッション*を取り外す。

よだれパッドはボタンを外して、取り外す。

ヒップサポートとフラットクッションの取り外し方法 ➡ 39 ページへ

2 背もたれカバーとヘッドサポートを外し、本体カバーのボタンも外す

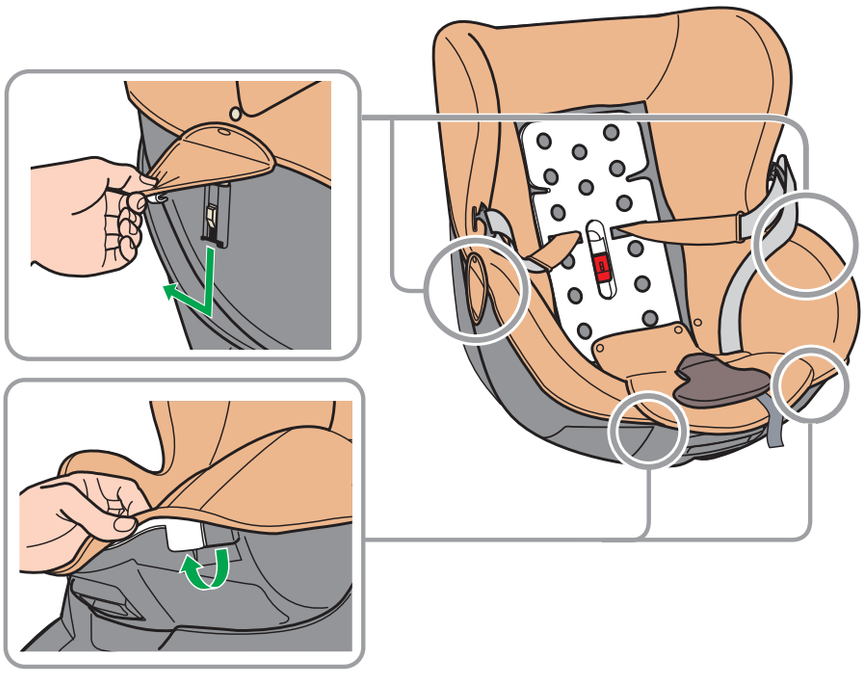


① 背もたれカバーとヘッドサポート、ヘッドクッション＊を取り外す。

② 腰ベルトの根元近くにある両側のボタンを外す。

背もたれカバーとヘッドサポート、ヘッドクッション＊の取り外し方法 ➡ 40 ページへ

3 本体カバーのフックを外す

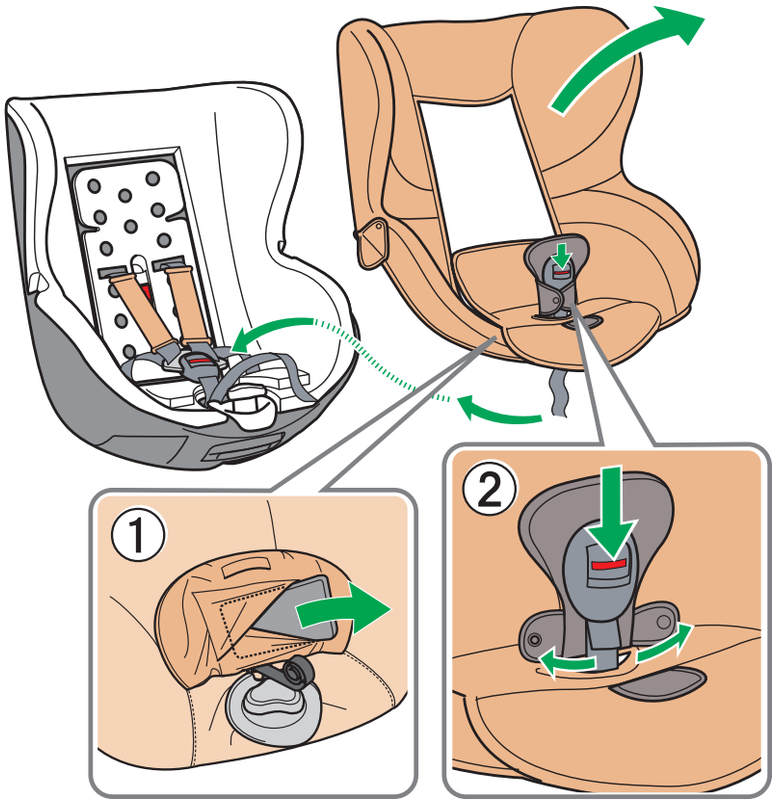


本体に付いているフック4か所を外す。

＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

カバーを取り外す

4 本体カバーを取り外す

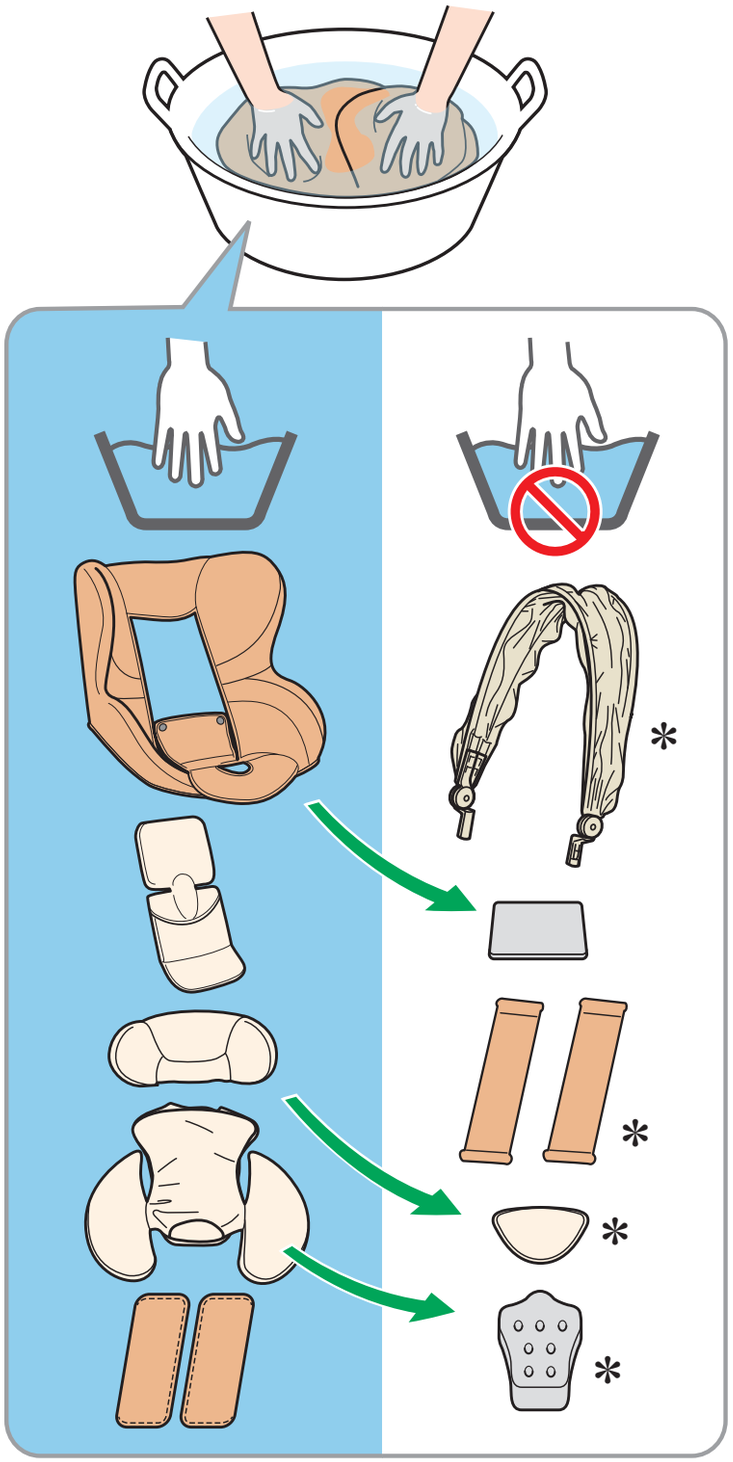


① フラップを裏返し、クッションを抜く。

② バックルをバックルカバーから外す。

⚠注意

肩ベルトカバーは取り外せません。



＊ グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

お手入れのしかた

お手入れ

本品のカバー類をチャイルドシートから取り外したら、以下の注意項目に従ってお手入れしてください。

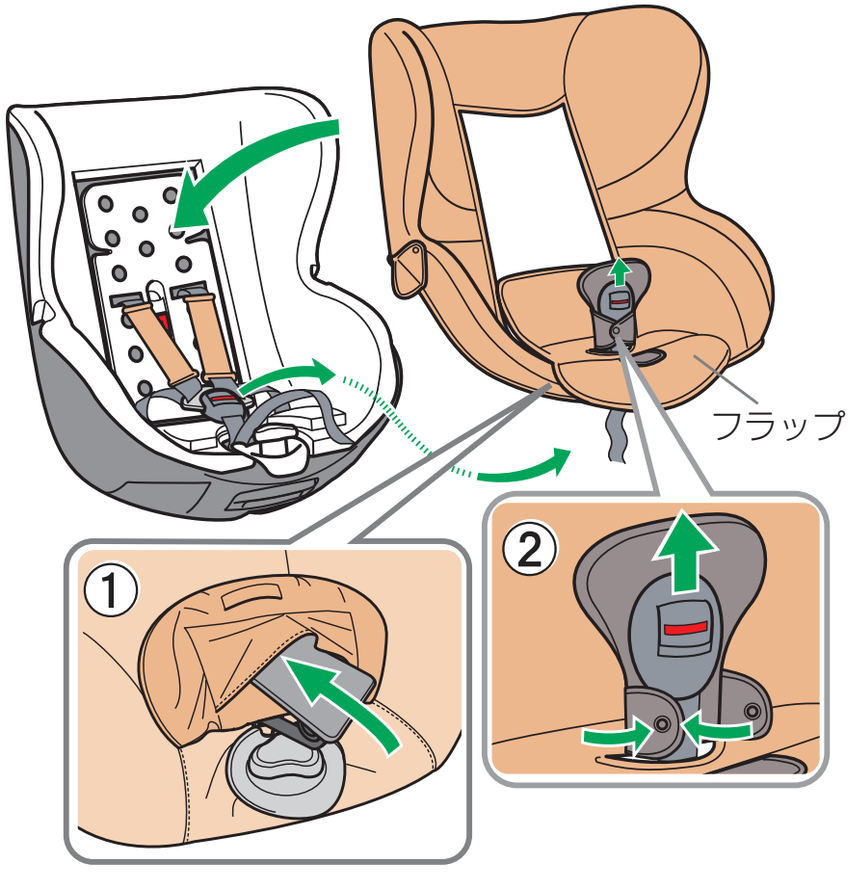
- 洗えないカバー類やクッション類が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。
- カバー類で覆われていないところの汚れは、柔らかいきれいな布で拭いて下さい。それでも落ちない場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。
- 本体の強度が落ちますので、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- 洗濯の回数やカバーの経年劣化の状態によっては、シワ等が発生する場合がありますが、性能に問題はありません。

洗濯上の注意	
	30℃以下の液温で、洗濯機は弱水流または弱い手洗いモードで洗濯してください。また、必ず洗濯ネット及び、中性洗剤を使用してください。
	塩素系漂白剤による漂白はできません。
	アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	ねじり絞りは避けてください。
	乾燥機の使用を避け、形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。

カバーを取り付ける

動画
カバーの取外方法・
取付方法

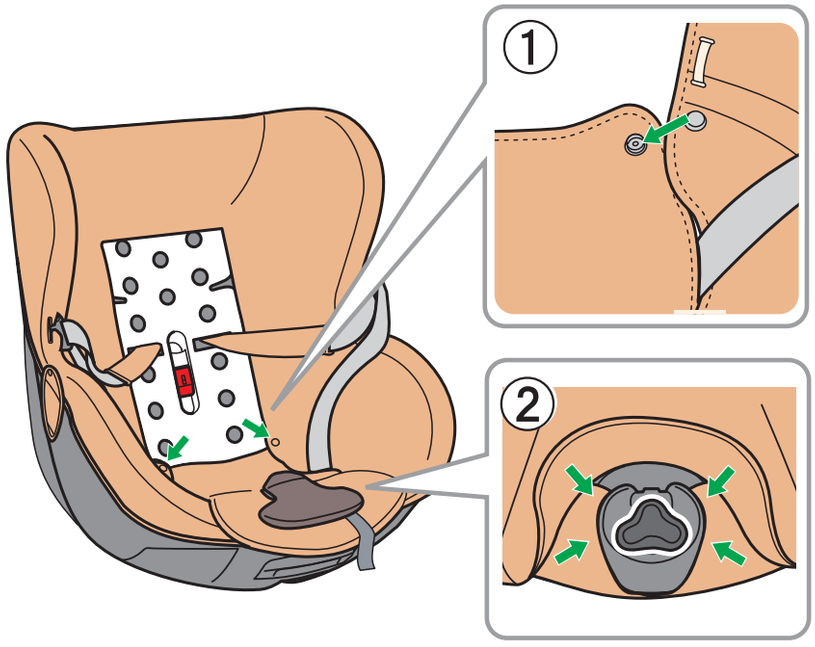
1 本体カバーを取り付ける



① フラップを裏返し、クッションを入れる。

② バックルをバックルカバーに留める。

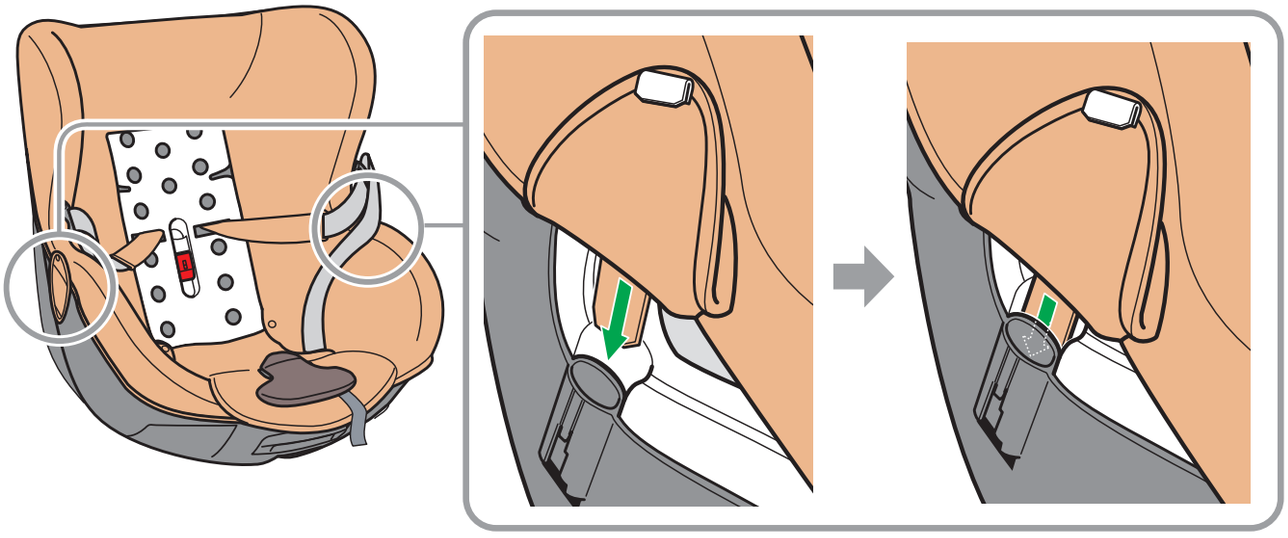
2 ボタンを留める



① 本体カバーに付いているボタン2か所を留める。

② クルットノブの下側にある樹脂板に生地を挟み込む。

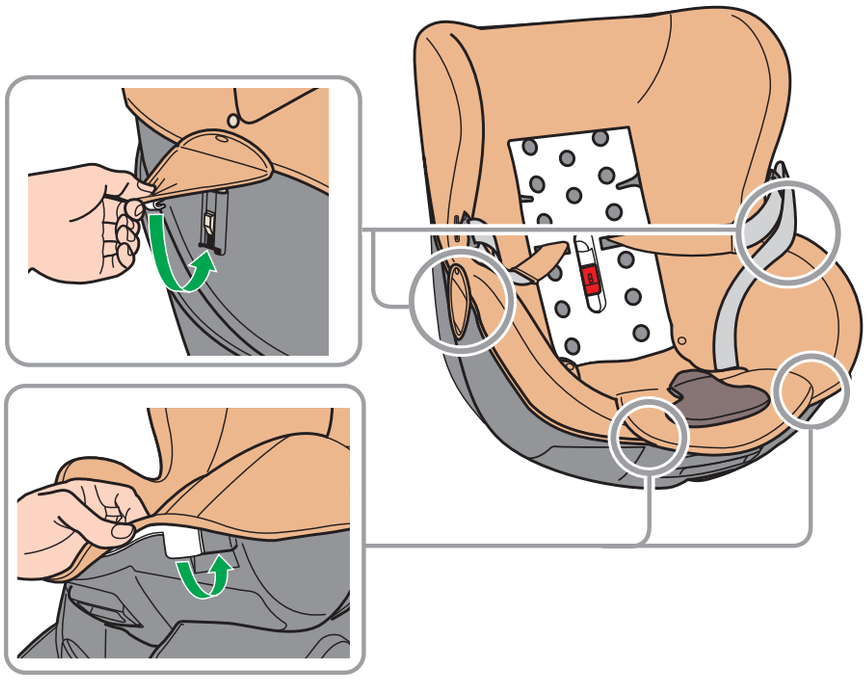
3 本体カバーの両端にあるプレートを差し込む



本体カバーの両端にあるプレートをシート成形品と衝撃吸収材（白色）の間に差し込む。

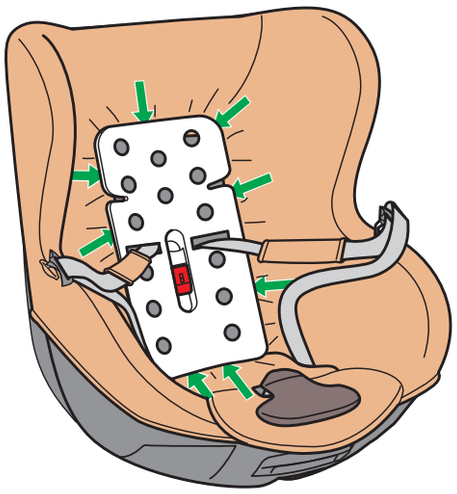
カバーを取り付ける

4 フックを引っ掛ける



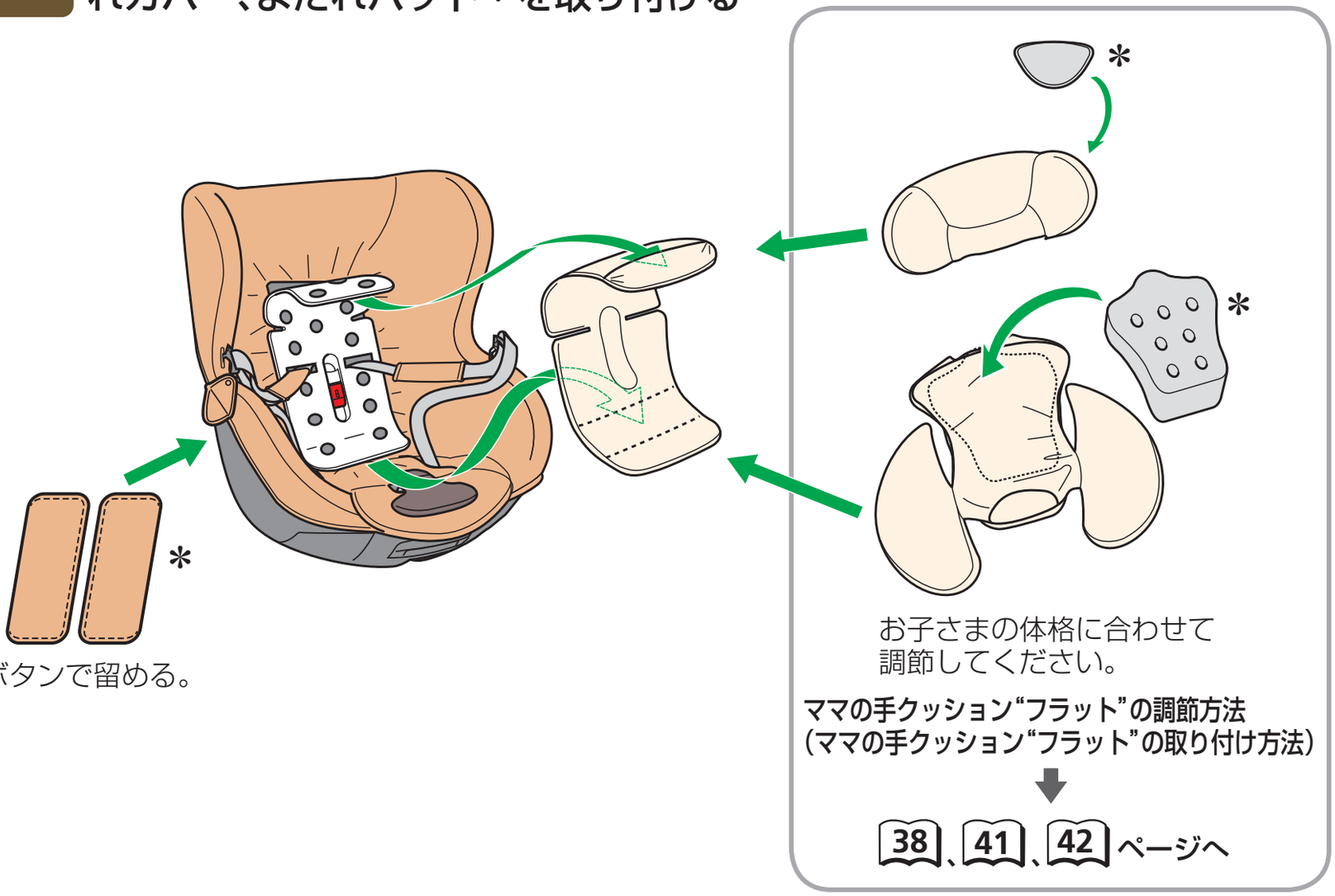
本体カバーのフックを前面フック2か所及び側面フック2か所(左右)に引っ掛ける。

5 本体カバーを背もたれプレートの裏に入れる



本体カバーを背もたれプレートの裏に入れる。

6 お子さまの体格に合わせてママの手クッション“フラット”を調節し、背もたれカバー、よだれパッド＊を取り付ける



お子さまの体格に合わせてママの手クッション“フラット”を調節してから、背もたれカバーとよだれパッド＊を取り付けてください。

＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

Q&A

よくあるご質問

よくあるご質問は以下のエールベベホームページまたはＱＲコードからご確認することができます。
よくあるご質問では、チャイルドシートについての疑問・質問への回答及びアドバイスを行っています。

パソコンから・・・　http://www.ailebebe.jp/support/

ケータイから・・・

よくあるご質問

お客様の疑問・質問が掲載されていない場合は、お手数ですが、巻末に記載のサービスセンターまでお問い合わせください。

● 取り付けについて

どの座席に取り付けたら良いですか？
路上でのお子さまの乗せ降ろしや、運転席からお子さまの様子を確認のしやすくするために、後部座席の助手席側をお勧めします。 （お車によっては取り付けできない座席がございます。必ず適合情報をご確認ください。）

● 使いかたについて

回転操作ができません。
回転操作はリクライニングが3段目の場合のみ操作できます。（33ページ参照）
肩ベルトが緩まない。
肩ベルトカバーを引いてませんか？アジャストレバーを押しながら、肩ベルトを引いてください。（36ページ参照）
リクライニングができません。
車のヘッドレストに干渉していませんか？干渉している場合は、ヘッドレストを外してください。
付属するクッション類の使用期間がわかりません。
38ページを参照してください。
肩ベルトの高さ調節ができません。
肩ベルトを緩めてから操作してください。（36ページ参照）

肩ベルトが短くて足りません。
①お子さまの体重が7kg以上の場合はフラットクッションを外してください。 ②肩ベルトの高さは適切な高さに調節されていますか？（43ページ参照）

● お子さまについて

チャイルドシートに嫌がって座りません。
長時間同じ姿勢でいるとぐずる原因になります。適度な休憩を取るなど、気分転換をしてください。
チャイルドシートから抜け出す。
肩ベルトがゆるいと抜け出しの原因になります。適切な締め付けを行ってください(47ページ参照)。

● その他

品番や製造番号(ロット番号)はどこに記載されていますか？
本体の右側面のシールに記載しています(66ページ参照)。
替えカバーなどのパーツは購入できますか？
ご購入いただけます。ご購入は、弊社サービスセンターへお問い合わせください。
壊れてしまったのですが、修理はできますか？
破損や故障については、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

保　証　書

〈保証規定〉

1. 保証期間内（ご購入日より4年間）に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。
2. 保証期間内においても次の場合には有料での修理となります。
   A. 樹脂（プラスチック）部品の紫外線等自然劣化による変色。
   B. 本体カバー等の縫製部品の汚れや損傷。
   C. お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
   D. ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
   E. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
   F. 本証書にご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
   G. 本証書のご提示がない場合。
   H. 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   I. 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
3. 一度ご使用になった製品は、原則的にお取り替えできません。
4. 衝突事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理などの対応ができないことがあります。
6. 他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。
7. 日本国内のみ有効

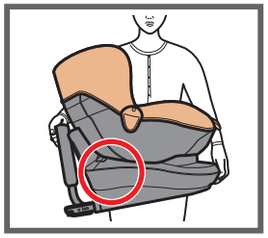
CARMATE　株式会社カーメイト

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

保　証　書

本証書は、裏面に記載の保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を弊社サービスセンターまたはご購入の販売店にご提示の上、お問合わせください。

ご購入後、ご使用になる前にご購入日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。



(製造番号は本体のベース右側面に記載されております。)

商品名 エールベベ ・クルット 3i（スリーアイ）	製造番号　※L11B123456などの英数字
保証期間　**ご購入日より 4 年間**（但し保証規定による）	ご購入日 年　月　日
お名前 ご住所　〒 TEL.	ご購入店名 住所　〒 TEL.
修理メモ	

製品仕様

製品寸法(高さ×幅×奥行)：H617×W440×D640mm
　　(リクライングが「3段目」、サポートレッグを収納時、日よけを除いた状態)
製品質量：14.7 kg（日よけを除く）
本体材質：ポリプロピレン、ポリアミド、ポリアセタール、ＡＢＳ
本体カバー：ポリエステル、ウレタンフォーム
本体クッション：発泡ＰＥ/ＰＳ、発泡ウレタン

保管方法

本品に市販の袋等をかぶせて、直接日光の当たらない涼しい場所に保管してください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 事故により本品を処分する場合は、油性ペン等で本品の目立つところに「事故品」と記載してください。

お問合わせ先

★商品のお問合わせや、替えカバーなどのパーツ購入については……

カーメイトサービスセンター

TEL03-5926-1212(代表) FAX03-5926-1218

パソコンからは…http://www.carmate.co.jp/support/

電話受付時間　〈平日〉10：00～18：30
〈土·日·祝〉10：00～12：00/13：00～18：30

★年始（1/1～1/2）および、盆時期の一部等は休業日とさせて頂きますのでご了承ください。

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本品の誤った取り扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

株式会社カーメイト

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11